

## 平成30年度各部の重点課題の取組結果

部(局)	政策推進部
部(局)長	市川 信行
総合政策監	山口 智弘(行財政健全化担当)
危機管理監	渡邊 耕次(危機管理担当)

### 【基本姿勢】

政策推進部では、市の政策をまとめ、実行するための施策についての企画・調整をはじめ、市民からの情報を受け止め、市民への情報発信を行うなど、市民との情報交流、市を動かすための職員に関する人事管理等を行っています。

また、防災体制の充実強化に向け、地域防災計画推進事業における各種行動計画の策定をはじめ、各指定避難所における備蓄等の整備を図ってまいります。

地域防災力の向上において「自助・共助」の意識を育むとともに、地域の自主防災組織の支援等を行ってまいります。

また、消防団による災害対応技術の向上に努めるとともに、柏原羽曳野藤井寺消防組合と連携を密にし、災害時等における救助や警戒避難体制の確保に向けて強化を図ってまいります。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	行政サービスの効率化及び市民サービス向上に向けた取組の推進	A
2	人口減少・定住化促進に関する取組の推進	C
3	徹底した情報公開による市政の透明化と、「広報かしわら」の充実により地元に誇りが持てるような市民意識の醸成	B
4	優秀な人材の確保に関する取組の推進	A
5	職員の法令遵守に対する意識強化	B
6	要配慮者避難支援体制の確保	C
7	水防体制の強化	C

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 1	行政サービスの効率化及び市民サービス向上に向けた取組の推進
--------	-------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	窓口業務の総合窓口化と、民間へのアウトソーシングの導入に向けた検討を進めます。
---------------------	---

活動目標
先行して実施している自治体の事例を研究します。
新庁舎のレイアウトを踏まえた総合窓口業務のあり方を検討します。

具体的な取組実績
寝屋川市、香芝市へヒアリングを行い、偽装請負対策について研究しました。さらに、守口市、箕面市、大東市、池田市などの先進市を視察し、窓口や執務室のレイアウトについて研究しました。
庁内の窓口担当課から成る総合窓口検討会及び分科会を立ち上げ、注意点や課題を整理し、委託範囲について検討しました。また、先進市の視察結果をもとに、提示された新庁舎での総合窓口課の面積を検証しました。

達成目標
柏原市版「総合窓口課」の新庁舎におけるレイアウトと業務内容を確立します。

達成状況	達成度
新庁舎における面積や大まかなレイアウトは決定しました。今後、業務を棚卸し、委託範囲など詳細を決定するため、次年度において総合窓口導入支援業務を実施します。	A  達成

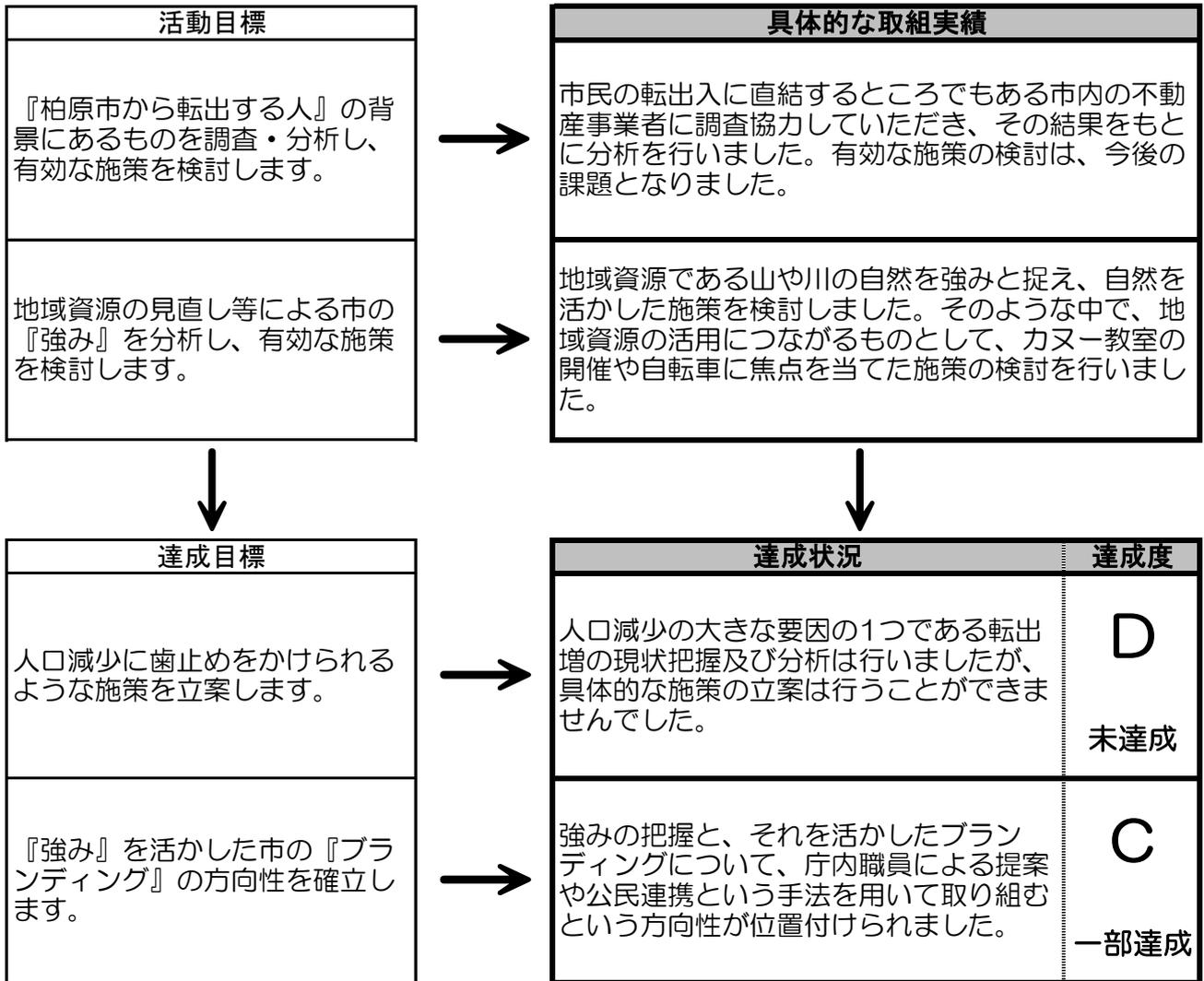
総合評価・総括
総合窓口化に向け、導入事例の検証や新庁舎供用開始に向けた検討を行うことで、行政サービスの効率化と市民サービス向上という課題解決に向けた取組を進めることができました。今後は、今年度の実績をもとに総合窓口導入支援業務を実施し、行政サービスの効率化と市民サービス向上の実現に向けて取り組んでまいります。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 2	人口減少・定住化促進に関する取組の推進
--------	---------------------

全体の達成度
C
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	減少傾向にある人口に歯止めをかけるとともに、地域資源の再発見や創出を行い、魅力ある情報を広く市外の方々にも発信することにより、観光などを入口とした流動人口や定住者の増加に繋げていきます。
---------------------	---



総合評価・総括
人口減少に歯止めをかけるという大きな課題を解決するため、現状把握と分析を行い、何をやっていくべきか方向性は見えてきたものの、具体的な施策を立案するまでは至らなかったため、今後は施策の立案とその実施に向けて取り組んでまいります。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 3	徹底した情報公開による市政の透明化と、「広報かしわら」の充実により地元に誇りが持てるような市民意識の醸成
--------	--

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	全市民がまちのセールスマンと化し、柏原市の魅力が内外に拡散されるというシティプロモーションの考え方を取り入れた広報戦略を推進します。
---------------------	--

活動目標
まちの魅力発信につながる庁内事業への積極的関与と連携強化
新たな広報媒体導入への取組の推進

具体的な取組実績
自転車の聖地かしわらの実現に向け、他部署が実施するサイクルツアー等の事業に参画するほか、公用自転車推進に係る提案を行うなど、市の魅力創出に向け他部署との連携強化を推進しました。
定住促進や市の魅力をPRするための冊子、また、公式ノベルティグッズ作製を新年度に行うため、取組み準備を行いました。

達成目標
庁内既存事業の進展による市民満足度のアップ
情報発信機会の創出により、まちの魅力の浸透が図られます。

達成状況	達成度
庁内の各種事業について、広報誌やSNSを通じ、効果的な広報に努めました。	B 概ね達成
インスタグラム導入後1年で約500人のフォロワーを得、各々からまちの魅力が発信されました。	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>広報かしわらの充実については、市政モニターへのアンケート結果からも一定高評価を得ていることから、市民の市への愛着や誇りの意識醸成に寄与したと考えます。また、その際の民意を反映させるべく、広報かしわらのリニューアルにも着手することとし、更なる充実を目指すこととしました。</p> <p>なお、SNSによる情報発信についても、フォロワー数増加に向け、講習会の開催を行うなど、更なる効果の獲得と適時適切な情報発信を行うことが出来ました。</p>

部(局)名	政策推進部
-------	-------

**重点課題 4 優秀な人材の確保に関する取組の推進**

全体の達成度  
**A**  
達成

目指すべき方向  
(中期的な目標)  
民間企業との採用競争が激しさを増している中、さまざまな行政課題を積極的な取り組みで解決していくことができる優秀な人材の確保に向けた取り組みを進めます。

**活動目標**  
本市を就職先として希望してもらうために、本市で働くことのやりがいと魅力を多くの学生に伝えることができるよう、近隣大学等に対する積極的な働きかけを行います。

**具体的な取組実績**  
大学での説明会を合同で2回、個別で1回開催しました。  
職場見学会を1回開催しました。

**達成目標**  
学校主催の合同説明会への参加や学内での単独就職説明会の開催を実現し、採用試験の受験応募者数の増加を目指します。

達成状況	達成度
事務職上級の受験者数が、平成29年度48名から、平成30年度101名に増加しました。	<b>A</b> 達成

**総合評価・総括**  
学校主催の合同説明会への参加や学内での単独就職説明会の開催に加え、職場見学会を実施することができたことにより、採用試験受験者数を大幅に増やすことができました。今後も優秀な人材を確保できるよう、就職説明会や職場見学会等を開催していきます。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 5	職員の法令遵守に対する意識強化
--------	-----------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	不祥事の発生によって、これまで築いてきた市民の職員への信頼を失墜させてしまったことに対し、職員個々が改めて全体の奉仕者であることを自覚するとともに、法令遵守に対する意識強化を図り、市民からの信頼回復に向けて取り組みます。
---------------------	--

活動目標
全職員を対象としたコンプライアンス研修を実施します。
全職員が信頼回復に向けて取り組みます。

具体的な取組実績
全職員を対象としたコンプライアンス研修を7月に実施しました。
「柏原市職員のコンプライアンスの推進に関する指針」を3月に策定し、全職員に周知しました。

達成目標
法令遵守に対する意識強化を図ります。
職員不祥事の発生を防ぎます。

達成状況	達成度
研修の実施や指針の策定、周知により、法令遵守の意識強化を図りました。	B 概ね達成
コンプライアンス研修の実施以降、懲戒処分を行うことはありませんでした。	B 概ね達成

総合評価・総括
研修実施以降職員の懲戒処分は発生していませんが、今後も職員不祥事が発生防止に向けて法令遵守に対する意識強化に係る取組を行う必要があると考えています。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

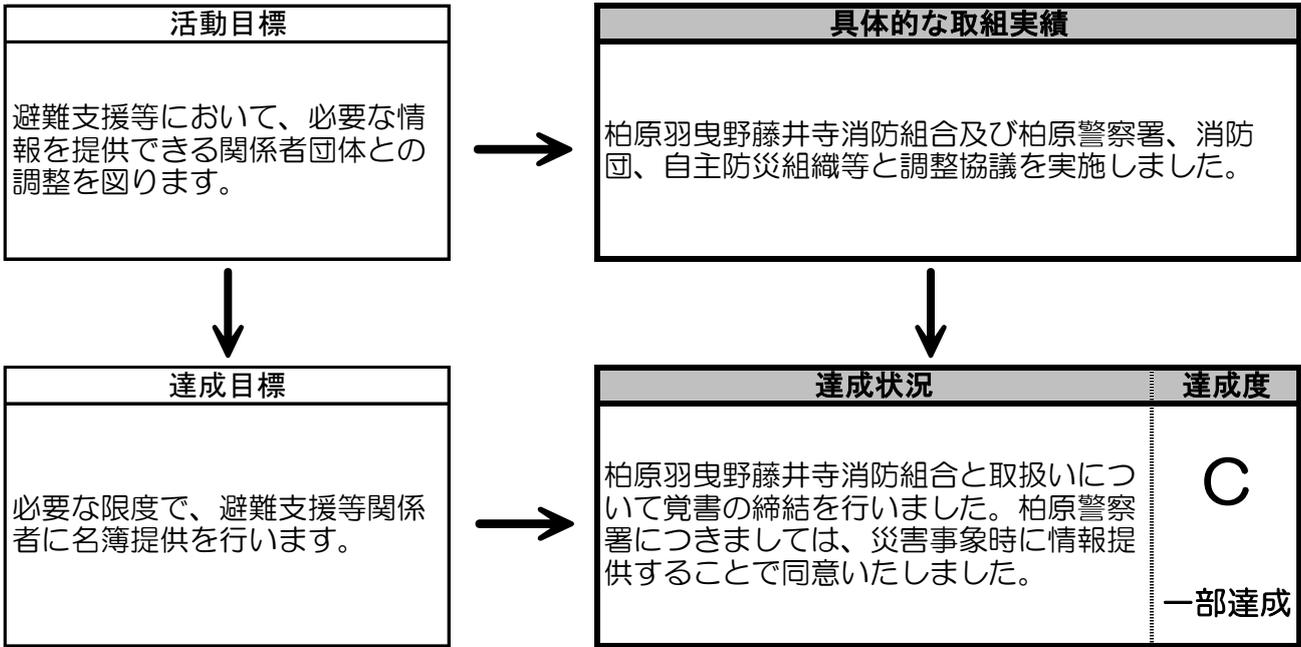
**重点課題 6 要配慮者避難支援体制の確保**

全体の達成度

C

一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	災害が発生した、又は災害が発生する恐れがある場合に、自ら避難することが困難にあり、特に支援を必要とする方が円滑に避難できるような、避難の支援体制を整備します。
---------------------	---



**総合評価・総括**

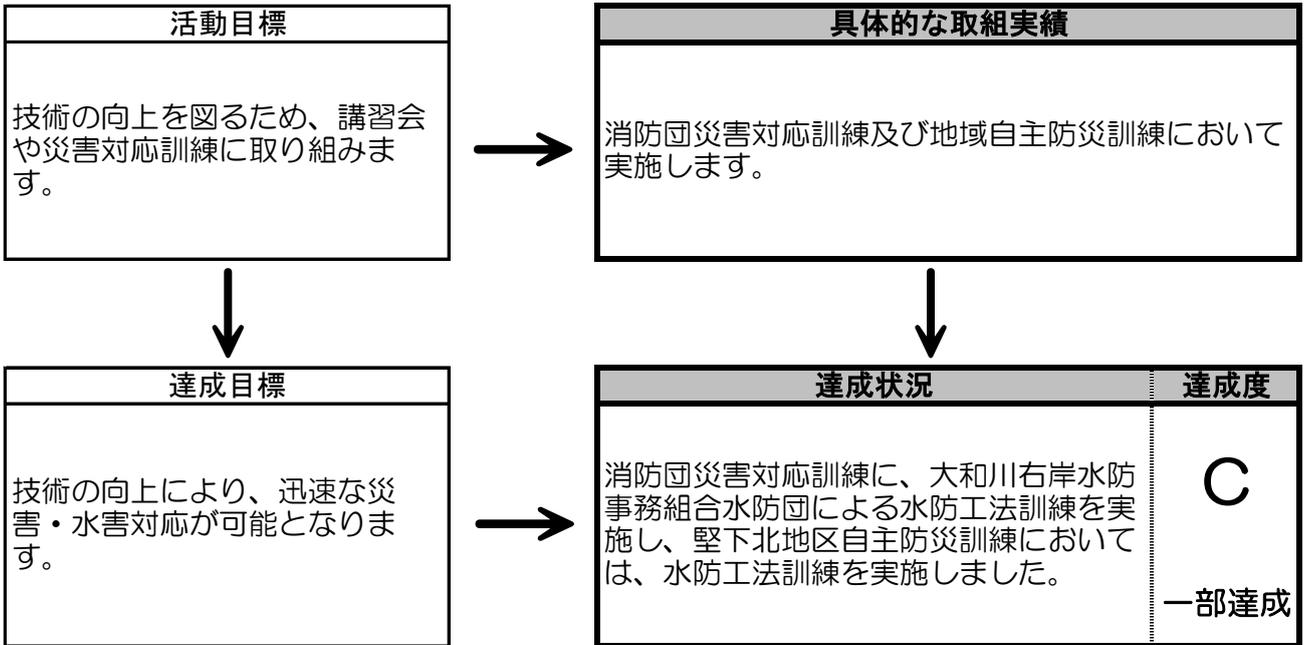
他の避難支援等関係団体には、情報提供を受けることで重責を感じる団体もあることから、今後話し合い等を進めていき理解を深めてまいります。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

**重点課題 7 水防体制の強化**

全体の達成度  
**C**  
一部達成

目指すべき方向  
(中期的な目標) 災害発生時において迅速な災害対応が行えるよう、災害・水害対応技術の向上を図ります。



**総合評価・総括**

消防団災害対応訓練における水防工法訓練は達成できましたが、地域自主防災訓練においては地区の自主的な訓練を進めていることから水防に特化した訓練は難しいものがありますが、今後は水防の必要性を促し訓練実施に取り組んでまいります。

## 平成30年度各部の重点課題の取組結果

部(局)	総務部
部(局)長	脇田 直行
理事	瀬田 友之(庁舎整備担当)

### 【基本姿勢】

総務部では、市が保有する情報資産の嚴重なセキュリティ対策、執務を行う上での基盤となる法務能力の向上など職員の執務環境への支援を行ってまいります。  
また、老朽化した庁舎の保安全管理や車両の適正管理を行うとともに、循環バスの適正運行により市民生活の利便性の確保に努めています。  
さらに、今年度から庁舎整備室が創設され、新庁舎整備を着実に進めていきます。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	職員の法務能力の向上に努めます。	E
2	市内循環バスの適正な運行と利用促進に努めます。	A
3	市民の安全・安心の拠点となり、市民生活の中心となる新庁舎の整備を進めます。	B

部(局)	総務部
------	-----

<b>重点課題 1</b>	<b>職員の法務能力の向上に努めます。</b>
---------------	-------------------------

全体の達成度
E
未実施

目指すべき方向 (中期的な目標)	複雑・多様化する行政事務について、市職員として正確かつ迅速に対応できるよう、知識の修得と職員の政策法務能力の向上に取り組みます。
---------------------	--

活動目標	具体的な取組実績
中堅職員を対象に法務研修を実施します。	平成30年4月から、弁護士資格を有する任期付職員の採用を予定し、当該職員の知識を活用し法務研修の講師をしてもらうことで研修対象職員の法務能力の向上を目指しておりましたが、採用が平成31年度からとなったため、改めて平成31年度に研修を実施する予定です。
係長級以上の管理職の職員を対象に法務研修を実施します。	平成30年4月から、弁護士資格を有する任期付職員の採用を予定し、当該職員の知識を活用し法務研修の講師をしてもらうことで研修対象職員の法務能力の向上を目指しておりましたが、採用が平成31年度からとなったため、改めて平成31年度に研修を実施する予定です。

達成目標	達成状況	達成度
行政事務執行上において、必要とされる知識の向上を目指します。		E 未実施
行政事務を統括する上で、政策の形成と地域の課題解決のために必要な法的知識を身に付けることを目指します。		E 未実施

総合評価・総括
平成30年度については、都合により法務研修の実施を見送ったが、中堅職員及び係長以上の管理職の職員を対象にした法務研修については、地方分権の推進等により、今後増々市民への説明責任の重要性が高まることが予想されることから、市職員の法務能力の向上は必須であると考えており、できる限り多くの分野での職員研修を実施していきたいと考えています。

部(局)	総務部
------	-----

<b>重点課題 2</b>	<b>市内循環バスの適正な運行と利用促進に努めます。</b>
---------------	--------------------------------

<b>全体の達成度</b>
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	現在の運行状況を精査分析することにより、適正なバスの運行に努めるとともに、より一層市民の皆様の利用促進を図っていきます。
---------------------	--

<b>活動目標</b>
バスの一部ダイヤの見直しを行い、利便性の向上を図ります。

<b>具体的な取組実績</b>
平成29年度に引き続き、平成30年度においても、市内循環バスのダイヤについて、交通事情などによる慢性的な遅延状態を解消するため、より運行実態を踏まえたダイヤとなるよう9月3日から午後を中心に時刻表を改正しました。

<b>達成目標</b>
利便性の向上により「市民意識調査」における「満足度」を向上させます。

<b>達成状況</b>	<b>達成度</b>
平成30年度の「市民意識調査」における市内循環バス事業を含む調査項目である「交通網」につきまして、「満足度」が前回数値2.87より、0.03ポイント増加し2.90となりました。次に、乗降客数は平成31年2月末日現在で、前年同月より約3,800人増加しています。	A  達成

<b>総合評価・総括</b>
市内循環バスにつきましては、その利用者の約80%以上が60歳以上の方々であり、その利用者の方々に少しでもゆとりを持って安全に乗降していただくとともに少しでも停留所での待ち時間を減らすことで、より快適に循環バスを利用してもらえらるものと考えています。

部(局)	総務部
------	-----

重点課題 3	市民の安全・安心の拠点となり、市民生活の中心となる新庁舎の整備を進めます。
--------	---------------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	災害に対する防災拠点機能を兼ね備えた新たな庁舎を整備することにより、市民サービスの向上や行政機能の強化を図ります。
---------------------	---

活動目標	具体的な取組実績
公募型プロポーザル方式により、建設事業者の公募及び決定を行います。	平成30年8月17日から建設事業者の公募を開始し、11月12日に技術提案書の審査、プレゼンテーション、ヒアリングを実施し、事業候補者を選定しました。平成30年12月21日に事業候補者と基本協定を締結、12月27日に設計業務の契約を行い、現在、基本設計に取り組んでいます。
安全安心で誰もが利用しやすい庁舎の建設を進めます。	我が国の防災のシンボル"大和川"沿いの新庁舎にふさわしい「防災庁舎」、交流を促進し地域を活性化させる「親水庁舎」を基本コンセプトとした基本設計案のパブリックコメント(平成31年2月25日から3月15日まで)を実施し、15項目の市民意見を参考に、基本設計を進めています。

達成目標	達成状況	達成度
新庁舎の基本設計に取り掛かります。	基本設計案のパブリックコメントを当初の予定(平成31年2月頃)どおりに実施することができ、平成31年3月末に市民意見を参考にした基本設計を完了する予定です。	A 達成
防災拠点機能やコストの低減、利便性を重視した基本設計とします。	基本設計案では、防災フロアを浸水被害も想定して4階に配置し、市民利用の多い窓口を1階、2階に集約しています。また、耐震性を確保するとともにコストの低減が図れる構造、環境エネルギー対策などを検討し、計画しています。	B 概ね達成

総合評価・総括
耐震性のある庁舎を早期に実現するため、平成33年3月の新庁舎完成を目標に事業を進めています。平成30年12月の事業着手から完成予定まで、タイトなスケジュールであります。現在のところ、概ね予定どおり進捗が図られています。また、平成31年7月から教育センターの解体工事、また、10月から新庁舎の建設工事に着手する予定であり、円滑に事業進捗が図られるよう、事業者と定例会議を実施し、工事手順や仮設方法などの検討を行っています。

## 平成30年度各部の重点課題の取組結果

部(局)	財務部
部(局)長	福井 浩

### 【基本姿勢】

本市では、行財政健全化戦略に基づき歳入の確保や事業の精査、見直しに努めていますが、経済情勢や人口減少による市税の減少、社会保障費などの義務費の増大に加え、今後新庁舎建設などの必要不可欠な事業が控えており、依然、厳しい財政状況が続くことが考えられます。

このような中、財務部では、引き続き歳入の確保を図り、将来計画を踏まえた効率的で持続可能な財政運営に努めるとともに、契約事務においては、競争性を確保しながら、より一層公平で適正な執行を行ってまいりたいと考えております。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立	B
2	市税の公平で適正な課税及び徴収	A
3	適正な入札及び契約の執行	A

部(局)	財務部
------	-----

重点課題 1	計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立
--------	----------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	健全な行財政運営を確立するため、歳出の抑制を図り、財政調整基金に頼らない収支の均衡を目指します。
---------------------	--

活動目標
平成29年度決算を検証し、不用額の発生要因の分析などを行い、次年度予算への対応を図ります。
今後の起債の発行と公債費の再検討を行います。

具体的な取組実績
過去5年間の予算額と決算額の乖離を検証したところ、毎年10億円以上の不用額が生じていたため、各事業課に対し、平成31年度当初予算の要求額については実績・実態に見合う額とするよう要請しました。
新たな起債の発行に当たり、充当する事業の個々の内容について、交付税算入される優良な起債の対象事業に合致するか否かの検討を行いました。 また、今後の公債費を抑制するため、借入の申込みに当たり、据置期間や償還期間などの条件について検討を行いました。

達成目標
臨時的な経費を除いた歳出経費の圧縮を行います。
交付税に算入される優良な起債の選定を行うとともに、公債費の管理計画を見直します。

達成状況	達成度
平成31年度当初予算編成において、各事業課と個別にヒアリングを行い、決算時に多額の不用額が生じることのないよう、要求額について過去の決算額と比較するなど更なる精査を行うことにより、歳出予算額の圧縮を図ることができました。	B 概ね達成
平成30年度に起債を充当する16の事業のうち、12事業が交付税算入される起債の対象事業となりました。また、借入れの際に据置期間を短縮するなど、より有利な方法で借入れを行うことにより、後年度負担の軽減を図ることができました。	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>平成31年度当初予算は、庁舎及び認定こども園の建設に伴う事業費として約20.8億円を計上するなど、平成30年度予算と比べて総額で約10.7億円の大幅な増となりましたが、上記の取組みにより、一般財源ベースは約3.6億円の増に抑えることができました。</p> <p>今後についても、人口減少等に伴い税収の伸びが見込めない一方で、庁舎及び認定こども園の建設など投資的経費の増に加え、社会保障経費や災害に関する支出が増加傾向にあることから、さらに厳しい財政運営が見込まれますが、歳出の抑制や公債費の適正管理など、財政調整基金に頼らない収支の均衡を目指した取組みを継続して進めてまいります。</p>

部(局)	財務部
------	-----

**重点課題 2 市税の公平で適正な課税及び徴収**

全体の達成度  
**A**  
達成

目指すべき方向  
(中期的な目標)  
市税は、市の収入の根幹であり、市民サービスを賄うための貴重な財源です。課税客体を把握し、適正な課税を行います。また、厳正な滞納整理を基にした収納業務により収納率の向上を図り、税負担の公平性を確保します。

**活動目標**

課税調査による課税客体を的確に把握し、公平で公正な課税及び徴収に努め、市税に対する信頼と税負担の公平性を確保します。

滞納額解消に向け、早い段階での納付相談や交渉を行うとともに、困難事案は、大阪府域地方税徴収機構と連携を密にし、不動産公売や差押の実施などの滞納処分により、滞納額の縮減に努めます。

**具体的な取組実績**

給与支払報告書未提出事業所への提出催告（14件）、法人市民税未申告法人等への課税調査（80件）、償却資産未申告事業所への課税調査等（235件）を実施しました。その結果に基づき、合計16,593,200円の市税を新たに課税しました。

自主的な納付が望めない場合には、法定督促状以外の市税未納催告書の複数回の送付、早期の納税相談・交渉の実施及び財産調査による滞納処分を行うことで滞納額の縮小に努めました。併せて大阪府域地方税徴収機構との連携を密にすることで困難事案の解消に導くことができました。

**達成目標**

平成29年度の収納率を超えることを目指します。

滞納繰越分の収入未済額の縮減を目指します。

達成状況	達成度
平成31年2月末時点の市税収納率は、昨年同時期の86.0%を上回る87.3%を達成しました。	<b>A</b> 達成
平成31年2月末時点の滞納繰越分の収入未済額は、115,201,509円で昨年同時期から37,514,210円の減少となっております。	<b>A</b> 達成

**総合評価・総括**

課税調査の取り組みを大幅に増やし、平成29年度（計235件）と比較して40パーセント増にあたる329件の調査等を実施しました。その結果、新たな課税額を平成29年度（計14,475,500円）よりも14.6パーセント増やしました。また、滞納者に対する早期の納税相談や、財産調査に基づく滞納整理により収納率の向上及び滞納額の解消を図ることができました。

部(局)	財務部
------	-----

**重点課題 3 適正な入札及び契約の執行**

全体の達成度  
**A**  
達成

目指すべき方向  
(中期的な目標)  
契約事務における透明性・公正性・競争性などの確保とともに、特に建設工事においては、元請業者及び一次下請業者に社会保険の加入を求める等、担い手の育成を視野に入れた入札を行います。

**活動目標**  
建設工事の入札に参加する場合には、社会保険等の加入を条件にするとともに、受注者には、社会保険等未加入業者を下請人としないう旨の「社会保険等に関する誓約書」の提出を求めます。  
  
入札及び契約内容の透明性を確保するため、入札等監視委員会を開催します。

**具体的な取組実績**  
年度初めに発行する「建設業のみなさまへ」への掲載や市ウェブサイトを通して、建設業者に周知を図るとともに、社会保険等の加入を入札参加要件としました。  
  
今年度は、7月、11月、2月に開催し、それぞれ平成29年度下半期に発注した建設工事（43件）と物品購入（31件）、平成29年度発注の業務委託（219件）、平成30年度上半期に発注した建設工事（48件）と物品購入（18件）の対象案件のうち、3人の監視委員が抽出した案件について、審議いただきました。

**達成目標**  
建設工事の受注者には、一次下請業者はもちろんのこと、二次以下の下請業者においても社会保険等の加入を促進します。  
  
入札等監視委員会からいただいた意見については、入札・契約制度改善検討委員会等に諮り、より公正・公平な入札契約制度を構築します。

達成状況	達成度
工事着手前に施工体制台帳の提出を求め、下請業者の保険等の加入の確認をしたところ、平成30年度発注工事においては、現時点での未加入業者は、確認できませんでした。（平成31年3月25日現在）	<b>A</b> 達成
監査委員により3回にわたり審議いただきましたところ、特に入札、契約に係る手続きや結果について、指摘や是正を勧告されることはありませんでした。	<b>A</b> 達成

**総合評価・総括**

入札・契約事務については、今年度においても公正性、透明性を確保し、競争性の高い入札制度を確立できていると思います。また、建設業者の社会保険等の加入については、事前の周知と契約時に請負業者からの誓約書の提出を義務化することにより、当初の目標を達成することができました。今後はさらに、「適正な価格による契約」、「適正な工期の設定」等により、請負業者の円滑な施工の確保を目指すとともに、入札等監視委員会においては、外部委員による指摘・指導や助言をいただき、引き続き、透明性・公平性・競争性を確保した、入札・契約の事務の執行に努めてまいりたいと思います。

## 平成30年度各部の重点課題の取組結果

部(局)	市民部
部(局)長	西戸 浩詞

### 【基本姿勢】

市民部には、戸籍、住民基本台帳や人権、環境などを所管する市民生活に関わりが深い部署と、にぎわいのあるまちづくりのために産業の振興や地域との協働を推進する部署があります。まず市民課では、市民の方々に寄り添った、親切かつ丁寧な対応を基本に迅速で質の高い窓口業務を提供することにより、市民満足度の向上に努めます。

人権施策については、人権が常に尊重される地域社会の実現に向け、部落差別やヘイトスピーチの解消などへの啓発や相談体制の充実に取組みます。

環境施策については、ごみの減量化を進めるとともに、地域のリサイクル活動を支援します。また、関係機関と連携し、河川の水質改善に努めます。

産業の振興については、地域や地元企業と連携し、人材育成と市内外へのPRを中心として、現在すでにある柏原の魅力的なまち・ひと・しごとをつなぎ合わせることで活性化を図ります。

さらに、にぎわいのあるまちづくりのために、現在の自治会活動を支援するとともに、より一層安全なまちづくりのため、防犯カメラの設置をはじめとした防犯対策を進めていきます。また、市制60周年記念事業として、市民総合フェスティバルにおいて、「かしわら花火」を復活し、地域の活性化やにぎわいの向上を図ります。

これらにより、「日本一住みたいまち柏原」の実現を目指し、一人でも多くの人に「ええとこやん、柏原」と感じていただき、本市を訪れ、また、住んでいただけるような施策に取り組んでいきます。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	市民の利便性の向上	B
2	世界人権宣言70周年にあたり、部落差別をはじめ様々な人権課題の解消に向けての更なる周知と啓発の推進	B
3	安心して暮らせる生活環境の形成【ごみの分別、減量及びリサイクルの推進】	B
4	農業・商業・工業の振興	A
5	地域資源の活用による交流人口の増加	A
6	市民総合フェスティバルにおいて、市制60周年記念事業として「かしわら花火」の実施	A

部(局)	市民部
------	-----

<b>重点課題 1</b>	<b>市民の利便性の向上</b>
---------------	------------------

全体の達成度
<b>B</b>
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	市民課窓口業務の利便性の向上とマイナンバーカードの普及促進
---------------------	-------------------------------

活動目標	具体的な取組実績	
住民票等証明書のコンビニ交付に向けて、システムの構築を進めます。	コンビニエンスストアで住民票等証明書の取得が可能となるよう、システム構築に向けての課題に対する対応策の検討や先行市を訪問しての情報収集等を行い、速やかに事業者と契約を締結し、住基と戸籍の連携システムなどの構築を行いました。	
広報やパンフレットの配布等のPRに努め、休日開庁やマイナンバーカードの申請、取得に関して、窓口でのわかりやすい説明を行います。	コンビニ交付やマイナンバーカードの普及については、回覧板や広報誌、市ウェブサイト、フェイスブックなどで周知を図りました。また、平日のマイナンバーカードの受け取りが難しい市民の皆様を対象に、今年度6回の休日開庁でマイナンバーカードの交付を行い、窓口でコンビニ交付等についての説明を丁寧に行いました。	
達成目標	達成状況	達成度
住民票等証明書コンビニ交付について、平成31年度からの実施を目指します。	事業者と契約を締結し、コンビニ交付実施に向け、システムの構築を行いました。平成31年3月に地方公共団体情報システム機構と実店舗(市内コンビニエンスストア店含む)で試験を行い、平成31年4月からのコンビニ交付実施に向けて業務を行いました。	A 達成
マイナンバーカードの人口に対する交付枚数率15%を目指します。	平成31年4月からのコンビニ交付サービスの利用に向けて、新たな取り組みとして休日に『マイナンバーカード申請用写真の無料撮影』を平成30年12月より4回実施したことなどにより、目標の交付率に達しませんが、前年の同時期と比較して交付件数は3倍以上増加しました。	C 一部達成

総合評価・総括
コンビニ交付を実施することによりまして、全国のキオスク端末のあるコンビニエンスストアなどで、マイナンバーカードを利用して、証明書が取得できます。特に住民票の写しと印鑑登録証明書は、午前6時30分から午後11時まで、平日に限らず休日も(年末年始とメンテナンス日を除く)証明書の取得が可能となりますので、市民の利便性が向上することから、市民の皆様には広く知って頂くよう周知を継続的に行いました。マイナンバーの普及については、今後コンビニ交付の利用促進とともに『マイナンバーカード申請用写真の無料写真』の平日実施の検討を含め、引き続き取り組んでまいります。

部(局)	市民部
------	-----

重点課題 2	世界人権宣言70周年にあたり、部落差別をはじめ様々な人権課題の解消に向けての更なる周知と啓発の推進
--------	---

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	部落差別や様々な人権課題について、啓発活動及び相談事業の充実を図ります。
---------------------	--------------------------------------

活動目標
広報、市ウェブサイト及び市内公共施設等や行事を活用した啓発活動に加え、柏原市人権協会や大阪法務局などの関係機関と連携した、啓発活動の更なる充実を図ります。また、相談窓口相談者担当連絡会議を活用した、相談体制の充実を図ります。

具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「女と男のフォーラム」や「平和展」などの人権に関する行事や「総合フェスティバル」で関係機関と協力して啓発チラシ等を配布</li> <li>・ふれあいステーションでのポスター掲示</li> <li>・人権いろいろ相談の実施</li> <li>・相談員は毎年大阪府人権協会等が開催の研修、講座等を受講</li> <li>・大阪府人権協会等の関係機関と連携した対応や本市相談窓口担当者連絡会議を開催し窓口一覧の作成や困難事例などの情報交換等を実施</li> <li>・啓発パネルを作成し、フローラルセンターで常設展示</li> </ul>

達成目標
市民意識調査の「人権教育」の満足度を前回数値より高めます。

達成状況	達成度
市民意識調査の満足度は前回数値から微減してはいますが、継続的な啓発に努め、活動目標については達成しました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
<p>いわゆる差別解消3法の周知や、その他人権課題についての啓発、相談事業の充実などについて、様々な機会をとらえて取り組みました。</p> <p>その結果、市民意識調査においては、前年に比較して満足度が微減しましたが、人権課題への取組は継続することが第一に重要と考えますので、効果的な取組となるよう工夫しながら続けて参ります。</p>

部(局)	市民部
------	-----

重点課題 3	安心して暮らせる生活環境の形成【ごみの分別、減量及びリサイクルの推進】
--------	-------------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	ごみの分別、減量及びリサイクルをより一層推進することにより、循環型社会の構築を目指します。
---------------------	---

活動目標
水銀による環境汚染を防止するため、水銀使用廃製品について、市内公共施設における拠点回収を実施します。
町会や子供会などによる新聞紙等の集団回収事業を拡大します。

具体的な取組実績
平成30年6月1日から家庭で排出された水銀使用廃製品（蛍光灯、乾電池、水銀体温計）を市内公共施設で拠点回収を開始しました。 【回収拠点】教育センター、K・Iホール、自立支援センター、文化センター、健康福祉センター、玉手浄水場、国分出張所、国分図書館、堅上出張所
平成30年4月から12月までの集団回収による回収量は、865トン、平成31年3月現在の集団回収事業の登録団体数は、46団体となっています。

達成目標
市民意識調査の「資源の循環利用」、「地球温暖化防止」の満足度を前回数値より高めます。
集団回収による回収量と実施団体数を、前年度より増とすることを旨します。

達成状況	達成度
「資源の循環利用」及び「地球温暖化防止」の満足度は、前回より0.1ポイント以上高い結果となり目標を達成しました。	A 達成
成果としては、集団回収事業による回収量は、月平均ベースで前年度並み、登録団体は、1団体増加しました	B 概ね達成

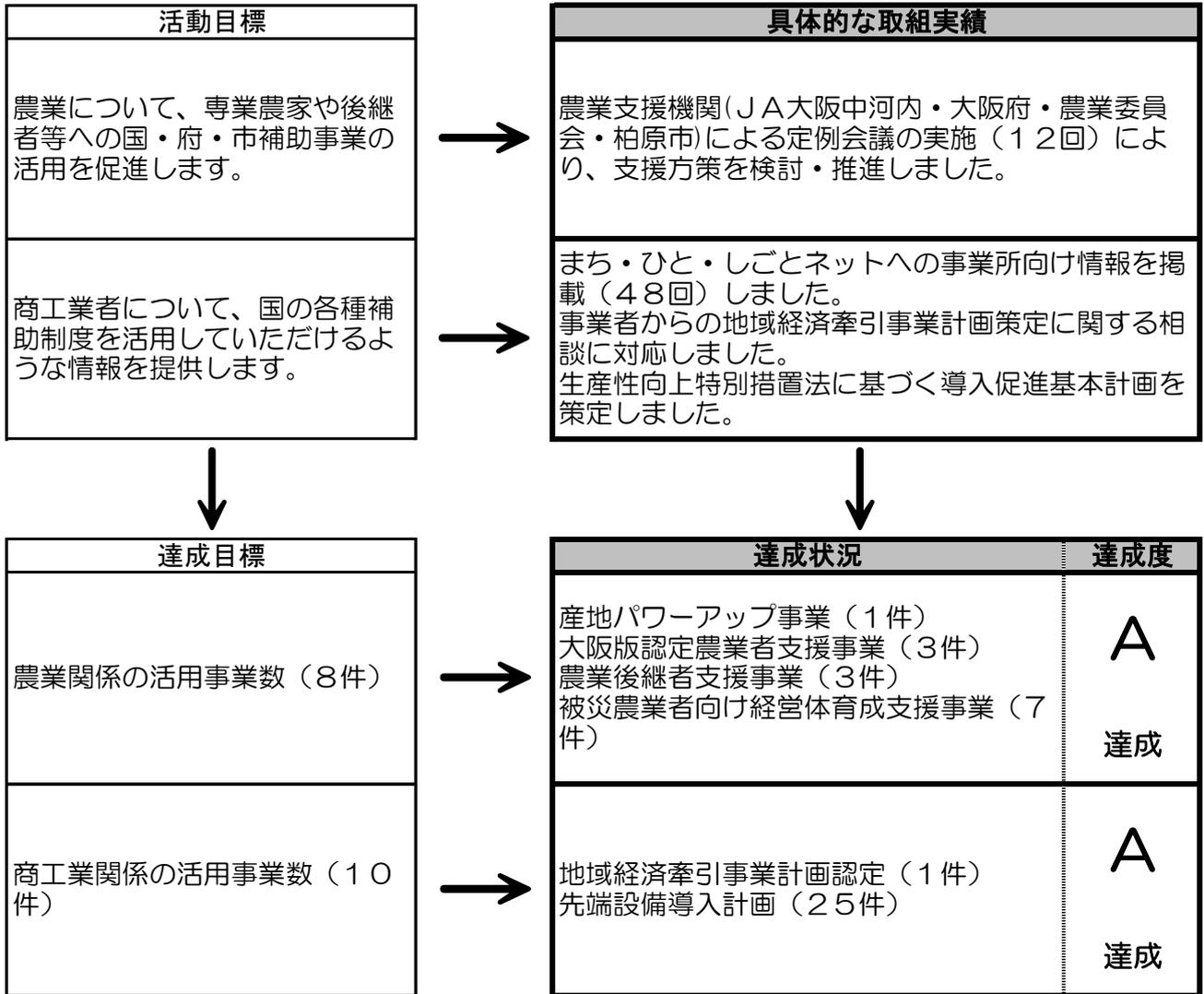
総合評価・総括
<p>循環型社会を構築する本市の取組として、環境教育や環境フェアの実施、町会や子供会などによる集団回収事業を拡大することにより、4R（リフューズ：発生回避、リデュース：排出抑制、リユース：再利用、リサイクル：再資源化）の推進が図られ、資源の循環利用にも寄与できました。そのため、市民意識調査の満足度数値も上がったものと思われます。</p> <p>水銀による環境汚染を防止し、市民の皆様の健康保護及び生活環境の保全を図るために、水銀使用廃製品の拠点回収に取り組み、平成31年2月末現在、蛍光灯274kg、乾電池類819kg回収しました。</p>

部(局)	市民部
------	-----

<b>重点課題 4</b>	<b>農業・商業・工業の振興</b>
---------------	--------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	農業・商業・工業ともに地域や地元企業と連携し、人材育成と市内外へのPRを通じて、活性化を図ります。
---------------------	---



総合評価・総括
<p>農業に関してはJA・大阪府・農業委員会との連携体制により目標を上回る事業の活用件数を達成することができました。</p> <p>商工業については、商工会との連携により目標を上回る事業の活用件数を達成することができました。</p> <p>今後も、各支援機関と連携しながら事業活用を進めてまいります。</p>

部(局)	市民部
------	-----

<b>重点課題 5</b>	<b>地域資源の活用による交流人口の増加</b>
---------------	--------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	豊かな自然環境や歴史的な資源を活かし、交流人口の増加による観光振興と地域活性化を図ります。
---------------------	---

活動目標
2市2町広域観光ルート（柏原市・香芝市・王寺町・三郷町）を活用したウォーキングモデルツアーを実施します。
広域観光ルートの魅力を伝える手段として、2市2町の観光名所を紹介したウォーキングマップを作成します。

具体的な取組実績
12月15日に、マルシェと一体となったウォーキングイベントを開催し、約1,800人の参加者がありました。
「公式ガイドマップ」と題した5ルートの推奨コースと2市2町の特産品などを掲載したマップを15,000部作成しました。

達成目標
エリア全体の価値を高めることにより、柏原市の魅力や認知度を高め、多くの方が訪れるにぎわいあるまちを目指します。

達成状況	達成度
広域でのウォーキングイベント開催による賑わいの創出と認知度の向上を図ることが出来ました。	A  達成

総合評価・総括
2市2町による広域でのウォーキングイベントや三郷町と共同実施している「3幸プロジェクト」、生駒山系の歴史・文化を活かしたまちづくりに関する連携会議での自転車イベントなどを開催することにより、本市の知名度の向上と交流人口の増加による地域活性化を図ることが出来ました。

部(局)	市民部
------	-----

<b>重点課題 6</b>	<b>市民総合フェスティバルにおいて、市制60周年記念事業として「かしわら花火」の実施</b>
---------------	---

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	花火大会の開催により来場者数の増加を図ることとともに、事故なく来場者楽しんでいただけるイベントとするよう、関係機関と連携のうえ、安全対策に万全を期してまいります。
---------------------	---

活動目標
関係機関と連携を図りながら、花火大会開催の周知を図ります。
実行委員会、警察等と十分に協議しながら、警備や会場設営等の安全対策を講じます。

具体的な取組実績
本市広報誌、ウェブサイトやSNSの他、実行委員会で作成したチラシを、市内教育機関や企業において配布するとともに新聞折込を活用し周知を図った。また、クラウドファンディング版ふるさと納税を実施し、専門業者の募集ウェブサイトによりかしわら花火のPRを図りました。
警察や公共交通機関等関係団体と事前に協議を重ね、機動隊の派遣や最寄駅への臨時停車を要請するとともに、会場周辺の案内表示の設置、交通規制箇所の追加などにより、必要な安全対策を講じました。

達成目標
H29年度の2倍の来場者数を目指します。
開催中の事故発生件数0を目指します。

達成状況	達成度
平成29年度来場者は主催者発表で約1万5千人に対し、本年度のかしわら花火来場者は主催者発表で約7万8千人と目標を達成できました。	A 達成
実行委員会、警備会社、警察、消防等関係機関及び市職員の連携により、事故発生及びけが人等の報告件数は0件でした。	A 達成

総合評価・総括
花火大会開催の周知においては、会場の容量に限界があり、安全対策上人が集まりすぎるのは危険であるとのことから、大手マスコミ等を通じてのPRは控えるよう警察から指導を受けている点と、安全対策においては、人手不足や人件費の高騰から警備費用等が増加するとともに、警備会社の選考が難航し、結果として警備計画策定に関する協議が遅れた点が課題ではありましたが、インターネットやSNSに加えクラウドファンディングを活用した情報発信、また、警察をはじめとした関係機関との度重なる協議による、安全対策面での情報共有により、目標を達成することができました。

## 平成30年度各部の重点課題の取組結果

部(局)	健康福祉部
部(局)長	石橋 敬三
理事	梅川 保一(健康・保険担当)

### 【基本姿勢】

「地域のつながりの中で誰もが健康で安心して暮らしている」の実現を政策目標とします。  
 この目標を達成するため、支援を要する市民一人ひとりのニーズを的確につかみながら、高齢者、障害者、妊婦や子育て世帯など誰もが、身近な地域で不安なく自立して暮らしているまちを目指し、支え合える環境を整えつつ、生活困窮者への自立支援、高齢者に対応した施策や、障害者の自立支援、市民の健康づくり、妊娠から子育てまでの包括支援等に取り組みます。  
 また、今年度から組織編入となる保険年金課と従来部門の連携を深め、市民の健康づくりのさらなる充実を図ります。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	出産・育児に関する包括支援(出産・子育てにやさしいまちづくり)	B
2	広域化する国民健康保険の安定運営、及び健康と保険の連携強化	B
3	5歳児の幼児教育に係る保育料を無償化	A
4	(仮称)かしわら認定こども園開設に向けた施設整備と柏原市就学前教育・保育カリキュラム策定	A
5	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくりの推進	C
6	障害の程度に関わらず、すべての人が安心して暮らせる地域づくりの推進	C
7	健全な福祉サービス等の提供のため事業者に対する運営指導の実施	B
8	複合的な課題を抱える生活困窮者への支援	B

部(局)	健康福祉部
------	-------

重点課題 1	出産・育児に関する包括支援（出産・子育てにやさしいまちづくり）
--------	---------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	安心して子育てができるよう、妊娠期から出産、子育てまでの包括的な支援を行います。
---------------------	--

活動目標
保健師が全ての妊婦を対象に面接を行い、また、乳児期に保健師及び保育士が全家庭を訪問し、各種相談に応じるなど、妊婦出産包括支援事業の充実を図ります。
虐待リスクの未然防止のため家庭児童相談室と連携するなど、関係機関との連携を強化し、各種相談への対応など、妊娠から切れ目のない支援を実施します。

具体的な取組実績
妊娠届出時に全ての妊婦に対して面接を実施しました。また、保健師及び保育士が乳児のいる家庭を訪問し、育児相談に応じるなど包括的な支援の充実を図りました。
妊婦面接時に特にフォローが必要と判断された妊婦に対して、電話や訪問により相談対応することにより妊娠期から出産後まで包括的な支援を図りました。

達成目標
産婦の交流サロンを新たに開設します。
保健師等が乳児家庭を全戸訪問するとともに、保育士による全戸訪問を実施します。

達成状況	達成度
平成29年度から実施している「すこやかサロン」において、平成30年度から新たに集団相談を実施し、妊産婦の交流を図りました。	A 達成
都合があわなかったり、同意が得られないため訪問できない家庭が数件あったが、概ね達成できた状況である。なお、家庭訪問ができなかった家庭については電話や来所、健診での面接を実施しました。	B 概ね達成

総合評価・総括
妊婦面接については、保健師による全数面接を実施し、フォローが必要な妊婦に対しては電話相談や家庭訪問により妊娠期から出産後まで、切れ目のない包括的な支援を実施することにより出産に関連する各種悩みや不安の軽減を図れたものと考えます。しかし、保育所や幼稚園に入った場合、乳幼児の継続把握が困難になり、支援する担当課も変わることから一貫した支援の継続が困難になるため、今後は、関係機関や関係各課が連携し一貫した支援体制の構築が必要であると考えます。

部(局)	健康福祉部
------	-------

重点課題 2	広域化する国民健康保険の安定運営、及び健康と保険の連携強化
--------	-------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	健康づくりについて、関係課の連携強化による健康づくり支援システムを確立するとともに、広域化する国保事業の安定した運営を図ります。
---------------------	--

活動目標
国保加入者の疾病予防と健康づくりを支援するため、特定健診と人間ドックの受診を勧奨します。
健康づくりについて、関係各課によるPTを立ち上げ、新たな取り組みや枠組みを検討します。

具体的な取組実績
広報誌にて、特定健診と人間ドックの受診勧奨を行いました。特に、特定健診は未受診者に対し勧奨するため8,511人に文書を送付し、そのうち3年間で1度でも受診歴がある方2,327人には、その方に合ったコメントを付して、受診を勧奨しました。
健康づくりについて、関係各課（福祉総務課、健康福祉課、高齢介護課、保険年金課、スポーツ推進課、企画調整課）や柏原市社会福祉協議会による「健康づくり推進会議」を立ち上げ、4回会議を開催しました。

達成目標
国保加入者の特定健診受診率40%、人間ドック受診者数900人を目指します。
大阪府健康づくり支援プラットフォーム整備等事業への効果的な参画方法を検討するなど、新たな健康づくり支援システム構築に向けた推進体制を確立します。

達成状況	達成度
現時点で、特定健診受診率は、35.4%で、今後も伸びる見込みです。また、人間ドックの受診者数は現時点で713人で、今後受診される方を含めた受付人数（受診見込人数）は879名です。	B 概ね達成
健康づくり推進会議を4回開催し、セレクトウエルネスの拡充や大阪府健康づくり支援事業への効果的な参画方法など次年度への健康づくり推進事業を決定しました。	A 達成

総合評価・総括
<p>国保加入者に対して、特定健診と人間ドックの受診を勧奨しており、特に、特定健診はターゲットを絞って未受診者対策を実施しており、受診率を向上させることで、加入者の疾病予防と健康づくりに寄与し、ひいては、医療費の適正化にも貢献できたと考えます。</p> <p>また、健康づくりについて、関係課の連携による「健康づくり推進会議」を立ち上げ、次年度の健康づくり推進事業の実施内容を決定しました。</p> <p>以上のことから、大阪府における国民健康保険の広域化についての基本的な取り組みである、「健康づくり・医療費適正化取組の推進」を着実に実施できていると考えます。</p>

部(局)	健康福祉部
------	-------

重点課題 3	5歳児の幼児教育に係る保育料を無償化
--------	--------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	国の施策に先行して無償化を実施し、「子育てを応援する環境づくり」を積極的に進めることで、子育て世帯の定住促進を図ります。
---------------------	--

活動目標
保護者への周知、また、広報誌、ウェブサイト、SNS等を活用して広く市民に周知します。
実施に向け、保育料及び就園奨励費に関する事務処理やシステム改修など準備を進めます。

具体的な取組実績
→ 広報誌、市ウェブサイト、SNSを活用した周知を行うとともに、各幼稚園、保育所にポスターを掲示し、広く周知を行いました。
→ 9月からの無償化に対応できるよう、システム改修等を実施しました。

達成目標
市民意識調査の「子育て支援」の項目において、満足度の数値を前回より高めます。
9月からスムーズに無償化へ移行します。

達成状況	達成度
→ 満足度の数値が、前回3.36から今回3.40と高まりました。	A 達成
→ 市内すべての幼稚園、保育所において、9月から幼児教育に係る保育料の無償化をスタートさせることができました。	A 達成

総合評価・総括
<p>国の制度に先がけた本市独自の取組みとして、5歳児の幼児教育無償化を9月から実施しました。実施にあたっては、様々な媒体で周知を図るとともに、必要となるシステム改修等を事前に行い、スムーズなスタートが切れたと考えています。</p> <p>平成31年10月には、国の保育料無償化制度の完全実施が予定されていることから、今後は市独自制度から国制度への移行準備を進めてまいります。</p>

部(局)	健康福祉部
------	-------

重点課題 4	(仮称)かしわら認定こども園開設に向けた施設整備と柏原市就学前教育・保育カリキュラム策定
--------	--

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	待機児童解消に向け、公立の認定こども園を開設するとともに、柏原市で実践する教育・保育カリキュラム策定、乳児保育に関する研究・研修を通じ、子どもたちが安心して自ら学べる環境を構築します。
---------------------	--

活動目標
認定こども園の施設整備計画を円滑に推進するため、保護者や地域住民に周知し、理解を得るとともに、関係部局の協力を得るための庁内調整を行います。
教育・保育カリキュラムや乳児保育の質の向上のための研修を実施します。

具体的な取組実績
基本設計完成時に保護者ならびに区長を通じ地域住民への周知を図るとともに、進捗については広報紙やウェブサイトで周知を図りました。また整備を進めるにあたり、都市開発課、教育委員会など関係部局と協力を得るための調整を随時行いました。
幼稚園教諭、保育士によるカリキュラム策定委員会を11回開催し、幼・保・認定こども園共通の教育・保育カリキュラムの策定を進めました。また、乳児保育研修では1名を他市認定こども園で年間を通じ研修を実施し、また、希望する保育士対象に市内の民間保育園での見学・体験研修を実施しました。

達成目標
施設整備の基本・実施設計を完了するとともに、工事業者を選定します。
柏原市独自の教育・保育カリキュラムを策定し、また、乳児保育に関する研修は、実務担当者8名に対し実施します。

達成状況	達成度
認定こども園開設時期を平成33年4月と変更したスケジュールに基づき、保護者や地域住民への理解を得ながら、設計業務および工事業者の選定業務について円滑に実施できました。	A 達成
柏原市就学前教育・保育カリキュラムの素案を策定しました。また、乳児保育研修は1名に対し1年間を通じ、他市の認定こども園で研修を行い、また幼稚園教諭、保育士22名に対し市内民間保育園7施設で見学・体験研修を行いました。	A 達成

総合評価・総括
認定こども園開設に向けた整備については、工程の見直しにより当初の計画からスケジュールの変更を行い開園時期を1年遅らせ平成33年4月としましたが、各関係部局との調整を行いながら基本設計、実施設計、業者選定事務は円滑に実施できました。また基本設計および今後のスケジュールについて保護者や地域住民に説明を行うとともに、広報紙やウェブサイトで進捗を報告いたしました。柏原市就学前教育・保育カリキュラムについては、実務担当者で構成するカリキュラム策定委員会において素案を作成しました。次年度は民間園も含めた検討会を開催し、柏原市内の全施設で実施できるよう検討してまいります。また、乳児保育研修については他市認定こども園や市内民間保育園において研修を実施し、就学前児童に対する教育・保育の質の向上に取り組むことができました。

部(局)	健康福祉部
------	-------

重点課題 5	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくりの推進
--------	----------------------------------

全体の達成度
C
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	地域包括ケアシステムを推進し、介護予防事業等による自立支援、重度化防止、また認知症初期集中支援事業や医療・介護の連携推進等に取り組み、安心して歳を重ねられる環境づくりを目指します。
---------------------	--

活動目標
認知症の人やその家族に早期に支援できる「認知症初期集中支援チーム」の構築を行います。
生活支援コーディネーターの配置等により、地域包括支援センターのマネジメント機能強化をはかり、介護予防対象者が必要なサービスを受けるなど、生活機能を維持・改善し、自立した日常生活を営めるよう支援します。

具体的な取組実績
認知症地域支援推進員（介護福祉士）、地域包括支援センター（看護師）、認知症サポート医（医師会委託）で認知症初期集中支援チームを構成し、認知症の人やその家族の相談に対応しました。
地域包括支援センターの3職種、生活支援コーディネーター等の多職種が、それぞれの視点から、介護予防対象者の生活機能を維持・改善するために必要な支援内容を検討しました。その内容を介護予防ケアプランに反映し、自立した日常生活が営めるよう支援しました。

達成目標
認知症初期集中支援推進事業における医療相談ケースを6件と想定し、対応します。
介護予防ケアマネジメントの対象件数を3,100人から4,000人に増やします。

達成状況	達成度
認知症初期集中支援チームとして、平成31年1月末日時点、5件対応しました。支援内容は、介護サービス導入3件、認知症疾患医療センター等受診2件でした。	B 概ね達成
平成30年12月末、2,374件の介護予防ケアマネジメントを行いました。要支援者が減少したため目標件数には達しませんでした。	D 未達成

総合評価・総括
高齢化の進展に伴い、要介護度の重度化が進み、併せて、老老介護や高齢者の虐待等、介護問題も複雑化しています。この多様な問題に対応するため、高齢者が自ら介護予防に取り組めるよう、また、地域で安心していきいきと暮らすことができるよう、地域で介護を支えるネットワークの充実に取り組みました。平成30年度では、地域の介護予防拠点づくりと、引きこもり高齢者の外出を促すコミュニティづくりととして、地域サロン等を増やすことや、認知症になっても安心して暮らせる地域社会を目指すため、認知症カフェの参加者を増やせるよう取り組みました。また、地域における困難事例等の支援を目指し、多職種協働による地域ケア会議を開催し、課題解決に取り組むとともに、地域支援ネットワークの構築を推進しました。

部(局)	健康福祉部
------	-------

重点課題 6	障害の程度に関わらず、すべての人が安心して暮らせる地域づくりの推進
--------	-----------------------------------

全体の達成度
C
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	第5期柏原市障害福祉計画及び第1期柏原市障害児福祉計画に基づく障害福祉施策を推進するとともに、障害者児とその家族のニーズに応じた、適正な障害福祉サービスを提供します。
---------------------	---

活動目標
計画で掲げた施策を推進するとともに、成果目標及び活動指標について、柏原市障害者自立支援協議会と連携し、PDCAサイクルに基づいた評価・点検を行います。
柏原市障害者基幹相談支援センターを中心とした相談支援体制強化に向け、広報や市内事業所を通じてセンターの認知度を上げ、潜在的相談ニーズを掘り起こします。

具体的な取組実績
毎月、柏原市障害者自立支援協議会の事務局会議を開き、目標達成に向けた課題抽出等を行いました。また、成果目標及び活動指標をより厳正な評価・点検を行うため、新たに目標管理シートを作成しました。
柏原市障害者基幹相談支援センターの認知度を上げるため、広報に紹介記事を3回掲載し、市及び社会福祉協議会のホームページにより周知を図りました。さらにジョイフル国分の「ふれあいサロン」にも相談窓口を開設し、利便性の向上に努めました。

達成目標
計画に掲げた今年度の成果目標と活動指標を達成します。
基幹相談支援センター設置による相談件数（平成29年度一般相談件数980件）の増加

達成状況	達成度
ほぼ計画通りに進捗しておりますが、成果目標及び活動指標をより厳正な評価・点検を行うため、新たに作成した目標管理シートにより、平成31年7月に開催予定の自立支援協議会全体会議において、平成30年度の詳細な実績評価・点検を行います。	B
平成31年1月末現在の相談件数は727件で、前年度の件数を下回る見込みとなるものの、その内155件は、今年度より新たに開始した休業日における電話相談であることから、相談支援体制としては強化することができました。	C
	概ね達成
	一部達成

<b>総合評価・総括</b>
「第5期柏原市障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画」については、引き続き進捗管理を行い、柏原市障害者自立支援協議会において、厳正な評価・点検を行い、目標達成に向けた取り組みを進めます。 柏原市障害者基幹相談支援センターにおける相談の見込件数は、前年度を下回る結果となりましたが、相談内容として、不安の解消や情緒安定に関する相談が多いことから、同センターが障害者とその家族の心の拠り所として機能しているものと考えられます。また、相談支援体制強化策として実施した休業日の電話による相談に、多くの相談が寄せられたことから、利用者に寄り添った、質の高い相談支援を行うことができたと考えます。

部(局)	健康福祉部
------	-------

重点課題 7	健全な福祉サービス等の提供のため事業者に対する運営指導の実施
--------	--------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	健全な福祉サービス等が提供されるように、市が指導監督の権限を有する社会福祉法人及び各種福祉サービス事業者に対して、適切な運営指導を行います。
---------------------	--

活動目標
社会福祉法、介護保険法など関係法規に基づき、事業者の指導・監査等を実施します。
市内介護保険サービス事業者の新規・更新に係る審査事務手数料の徴収を実施します。

具体的な取組実績
市内全事業者に対し、集団指導を実施しました。また、実地指導・監査等を計画的に実施しました。
市内介護保険サービス事業者から出された新規・更新の申請について、審査事務手数料はすべて徴収しました。

達成目標
各種福祉サービス事業者に対する集団指導の開催、実地指導を実施します。
市内介護保険サービス事業者からの審査事務手数料の徴収を実施します。

達成状況	達成度
平成30年5月に市内事業者に対し集団指導は開催、実地指導・監査等については、ほぼ予定どおり実施することができました。	B 概ね達成
徴収実績については、新規6件、更新7件で、実績額は275,000円（平成31年2月22日現在）です。	A 達成

総合評価・総括
平成30年度は、有料老人ホーム等の立入検査、児童福祉施設の検査などに重点を置いて、全体的には何とか概ね達成できたと考えますが、4月の人事異動によって、職員の当該業務についての専門性が重要であることがより一層明確となりました。当該業務を長期に継続するためには、職員の専門職としての育成などを計画的に進める明確な方針が必要と考えており、今後とも、人事部局との調整、市としての方針を明確にし、事業者による福祉サービス等の提供がより健全なものとなるよう慎重に指導・監査等を実施します。 また、審査事務手数料については、事前に周知しており、問題なく徴収を行いました。

部(局)	健康福祉部
------	-------

重点課題 8	複合的な課題を抱える生活困窮者への支援
--------	---------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	生活困窮者自立支援法の改正内容に沿って支援事業を推進します。また、複合的な課題を抱える生活困窮者に対して、課題に丸ごと対処し支援するため、包括的な相談支援体制を構築します。
---------------------	--

活動目標
支援調整会議の体制を再編・強化し、多機関の協働による包括的な支援を行います。
貧困の連鎖防止のため「子どもの学習支援事業」の拡充を図ります。

具体的な取組実績
生活困窮者自立支援法に基づき、支援調整会議を守秘義務を持たせた支援会議に改め、参加機関がそれぞれの支援者の情報を共有することにより、支援に繋がっていない生活困窮者を早期に発見し、包括的な支援が可能となりました。また、新たに人権や教育が参加することにより、支援会議の体制を強化しました。
これまで国分地域で行っていた子どもの学習支援事業について、新たに柏原地域でも「まなび家ほのぼの堅下」を開講することができました。また、高校進学への動機付けや高校中退防止の取組みとして、中学生と卒業生（高校生）の交流会を行いました。

達成目標
国が設定する生活困窮者の新規相談受付件数の目安値（18.2件/月）を達成目標とします。
新たな「子どもの学習支援事業」を立ち上げると共に、生活面での支援体制を構築します。

達成状況	達成度
1月末現在、生活困窮者の新規相談件数は16.2件/月と国が設定する目標値には届きませんでした。新たに支援会議を12月から立ち上げましたことから、今後、支援に繋がっていない生活困窮者を早期に発見し、支援に繋げる仕組みは作ることができました。	B 概ね達成
法善寺駅前に、新たな教室を立ち上げることができたことから、利用者の拡大を図ることができました。また、生活面での支援について、高校進学への動機付けや、学校や家庭での不安や悩みを話すことができる居場所を提供することができました。	A 達成

総合評価・総括
複合的な課題を抱える生活困窮者に対して、課題に丸ごと対処し支援するための仕組みとして、支援会議を立ち上げることができました。今後は支援会議への参加機関を増やして、支援に繋がっていない生活困窮者を早期に発見し、包括的な支援に繋げていきたいと考えています。子どもの学習支援事業においては、3年生は事業開始以来、全員が高校に進学する事ができており、学習支援としての当初の目的は達成しています。また、貧困の連鎖を防ぐという目的達成のために、平成30年度は学校や家庭での悩みを話すことができる居場所となるような雰囲気づくりに努めました。今後は卒業した高校生の中退防止のために、高校生に対する生活面での支援にも取り組んでいきたいと考えています。

## 平成30年度各部の重点課題の取組結果

部(局)	都市デザイン部
部(局)長	森本 貞男

### 【基本姿勢】

都市デザイン部では、道路、河川、公園等の都市基盤施設について災害に強いまちづくりを実現するため、日常の維持補修による安全確保等だけでなく、計画的な維持補修や長寿命化及び耐震化に取り組み、住宅等の耐震化及び空家等対策の促進を図り、公園や広場、緑地については、自然に親しむ場にするとともに災害時の一時避難にも利用できるよう安全で安心な施設として維持保全に努めます。

あわせて、成長と活力及び安全と安心の観点から、柏原市の発展、市民の安全性や利便性の向上を図るために、必要なインフラ整備を推進します。

また、交通安全対策として警察や交通安全協会と連携し、交通事故や放置自転車の減少に努め、市民の交通安全意識の高揚を図るため、啓発活動の充実を図ります。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	住宅・建築物の耐震化の促進	A
2	空家等対策の推進	B
3	効果的・効率的な道路整備の推進	B
4	バリアフリー化の推進	A
5	計画的及び効果的な維持補修の推進	B
6	交通安全対策の推進	A
7	市民協働による、みどり豊かなまちづくりの推進と安全安心な公園、広場とするための維持管理	B

部(局)	都市デザイン部
------	---------

<b>重点課題 1</b>	<b>住宅・建築物の耐震化の促進</b>
---------------	----------------------

<b>全体の達成度</b>
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	住宅・建築物の耐震診断、改修等により耐震化を促進することで、大規模な地震から市民の生命・財産を守ります。
---------------------	--

<b>活動目標</b>
既存建築物の耐震診断、木造住宅の耐震改修の補助制度、新たな制度としての木造住宅の除却の補助制度を実施し、耐震化への支援に取り組みます。また、建物所有者に対し、広報誌や全戸回覧などで制度の啓発に努めます。

<b>具体的な取組実績</b>
耐震化の補助制度として、「診断」・「改修」・「除却」についての補助を行いました。また、耐震化と補助制度の啓発活動については、広報誌掲載、全戸回覧、チラシのポスティング、公用車へのマグネット貼付、市有施設の窓口へのチラシ設置、出前講座、セミナー&個別相談会を実施しました。

<b>達成目標</b>
耐震診断、木造住宅の改修補助及び除却補助を実施することで、大規模な地震で倒壊する可能性の高い住宅等の減少を目標とします。

<b>達成状況</b>	<b>達成度</b>
耐震診断28戸、耐震改修2戸、除却9戸について補助を実施いたしました。	A
	達成

<b>総合評価・総括</b>
耐震診断補助の戸数は、平成29年度の12戸に対し、平成30年度は28戸と大幅に増加しました。新設の除却補助につきましても、予定数の補助ができました。耐震改修補助につきましても、前年度と同じ実績となりましたが、新設する耐震設計補助により、耐震改修の実績は増加するものと考えられます。

部(局)	都市デザイン部
------	---------

**重点課題 2 空家等対策の推進**

全体の達成度  
**B**  
概ね達成

目指すべき方向  
(中期的な目標) 柏原市空家等対策計画に基づき、今後も増加すると予想される空家等について、適正管理の促進に努めます。

**活動目標**  
平成29年度に行った3次調査により把握した管理不全な空家等について、啓発文書の送付や法に基づく助言・指導等を継続して行い、適正管理の促進に努めます。  
管理不全な空家等について、関係各機関と連携し、適正管理の促進に努めます。

**具体的な取組実績**  
3ヶ月に一度の定期調査を実施し、「管理不全」と判断した空家等の所有者に対し、適正管理についての啓発文書を送付しました。特定空家等につきましては、空家法に基づく助言・指導等の措置を講じました。  
空家等の維持管理の手法がわからない所有者に対して、市より適正管理についての情報提供を行えるよう、公益社団法人シルバー人材センターと連携を行いました。

**達成目標**  
空家等の所有者に対して、啓発文書の送付や助言・指導等を継続して行い、改善や除却を促すことにより、管理不全な空家等の減少を目標とします。  
関係各機関と連携し、放置されている管理不全な空家等の減少を目標とします。

達成状況	達成度
空家等の所有者に対して、啓発文書を72件送付しました。空家法に基づく措置は、第12条の助言2件、第14条の指導1件を講じました。総計36戸の空家が改善・除却されています。	<b>A</b> 達成
柏原市と公益社団法人シルバー人材センターとで「空家等の適正管理の推進に関する連携協定書」を締結いたしました。	<b>B</b> 概ね達成

**総合評価・総括**  
啓発文書の送付や助言・指導を行うことにより、36戸の空家が改善・除却されました。また、公益社団法人シルバー人材センターとの連携により、空家等の所有者に対して、空家等の管理手法に関する情報提供を行うことができるようになりました。空家等所有者への啓発活動及び情報提供、助言、指導を行い、空家等への対策に努めます。

部(局)	都市デザイン部
------	---------

重点課題 3	効果的・効率的な道路整備の推進
--------	-----------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	道路の拡幅により、車の通行が困難な危険個所の解消を目指し、広域交通網では、良好な市街地の形成と交通渋滞の解消を図ります。
---------------------	--

活動目標
上市法善寺線は、都市計画道路大泉本郷線の完成後、交通量の増加が見込まれることから、スムーズな交通環境を確保するため、接道交差点の整備に必要な用地取得を進めます。
雁多尾畑地区の交通安全や農業振興を目的に、整備が完成した市道畑信貴線に引き続き、接道している信貴太平寺線の整備を図るため、道路拡幅に必要な用地取得を進めます。

具体的な取組実績
上市法善寺線は、都市計画道路大泉本郷線との交差点部の整備を図るため、道路整備に必要な用地確保に向けて、物件補償算定業務及び用地鑑定評価業務に取り組み、順次、用地取得の交渉を進めています。 また、工事実施に向けての詳細設計業務に取り組んでいます。
市道畑信貴線に接道している信貴太平寺線の整備を図るため、道路拡幅に必要な用地確保に向けて、用地鑑定評価業務に取り組み、順次、用地取得の交渉を進めています。

達成目標
接道交差点部の整備を行うことで、安全で円滑な交通環境及び市民の安全・安心が確保できます。
信貴太平寺線の道路拡幅の整備を行うことで、大型車両と一般車両の相互通行の安全確保や、農業生産の向上が図れることになるとともに、奈良県側から里山公園へのアクセス路になります。

達成状況	達成度
接道交差点部の整備に必要な用地買収について、3件の契約を締結しました。引き続き、ご理解を頂いた土地所有者等へ補償物件の調査を行い、土地価格や物件補償額の算定後、用地取得の交渉を進めています。 また、詳細設計業務を実施したことで、用地買収箇所の工事着手が可能となりました。	A  達成
道路拡幅の整備に必要な用地確保に向けて、土地価格の算定後、用地取得の交渉を引き続き進めてまいります。	C  一部達成

総合評価・総括
各事業における完了目標を目指し、計画的に事業を進め、車の通行が困難な危険個所の解消や良好な市街地の形成と交通渋滞の解消を図る、事業効果を早期に発揮する必要があると考えます。

部(局)	都市デザイン部
------	---------

重点課題 4	バリアフリー化の推進
--------	------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	バリアフリー基本構想で定める重点整備地区にある特定経路等のバリアフリー化を行い、歩行者ネットワークを形成します。
---------------------	--

活動目標
近鉄堅下駅及び法善寺駅周辺での利便性及び安全性の向上を図るため、両駅を中心としたバリアフリー化に向けて、堅下駅・法善寺駅周辺地区のバリアフリー基本構想の策定に取り組みます。

具体的な取組実績
近鉄堅下駅及び法善寺駅周辺地区でのタウンウォッチングとバリアフリー基本構想協議会を4回開催し、バリアフリー基本構想策定の検討を行いました。

達成目標
今後のバリアフリー化が推進できるように、堅下駅・法善寺駅周辺地区のバリアフリー基本構想を策定します。

達成状況	達成度
柏原市バリアフリー基本構想を策定し、3月に公表しました。	A
	達成

<b>総合評価・総括</b>
<p>バリアフリー化の推進を図るために、協議会を開催するなどし、目標どおりバリアフリー基本構想を策定しました。</p> <p>ここでは全体の基本方針と基本目標を定めるとともに、重点整備地区を位置付け、バリアフリー化を進める生活関連施設及び生活関連経路を定めています。</p> <p>今後は、この基本構想に基づき、バリアフリー化を進めます。</p>

部(局)	都市デザイン部
------	---------

重点課題 5	計画的及び効果的な維持補修の推進
--------	------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	道路、橋りょう等の維持管理については、計画的な維持補修及び長寿命化に取り組むとともに、点検パトロールの強化や破損個所の緊急的な補修対応により、通行の安全確保や利便性の向上を図ります。
---------------------	---

活動目標
<p>一級河川大和川及び国道25号線を跨ぐ国分寺大橋は、地域防災計画において、地域緊急交通路に位置付けられている路線上の重要な橋であり、ライフサイクルコストの低減と長寿命化及び防災上の安全と安心のため、橋りょう長寿命化計画に基づく修繕と大規模地震に備えた耐震補強工事を行います。</p> <p>また、一級河川石川を跨ぐ玉手橋においては、建設後、90年以上経過し、老朽化しているため、橋りょう長寿命化計画に基づく修繕工事を行います。</p>
<p>道路の維持補修については、計画的な補修を行うため、路面の変状及び異常を把握し、対策の判定診断のもと、舗装修繕計画を更新します。</p> <p>また、道路附属物についても、変状を早期に発見し、適切な措置を行うため、点検及び修繕計画を策定します。</p>
<p>点検パトロールや市民の方からの通報により、道路面や道路肩等の破損、陥没等を発見、または確認した場合は、事故発生防止のため、緊急的な補修等を行うなど、迅速な対応を行います。</p>

具体的な取組実績
<p>一級河川大和川及び国道25号を跨ぐ国分寺大橋につきまして、昨年度に引き続き、橋りょう長寿命化計画に基づき、橋脚損傷部の修繕と大規模地震に備えた橋脚の耐震補強工事を行っています。</p> <p>また、一級河川石川を跨ぐ玉手橋につきまして、橋りょう長寿命化計画に基づき、橋脚損傷部の修繕とコンクリートの剥落防止工事を行いました。</p>
<p>道路の舗装路面における変状及び異常を把握し、対策の判定診断のもと、舗装修繕計画の更新を行いました。</p> <p>また、道路附属物の変状を早期に発見し、適切な措置を行うため、点検及び修繕計画の策定を行いました。</p>
<p>点検パトロールや市民の方からの破損等の通報に伴い、現地確認や調査を行い、補修工事を行っています。2月末時点で約150箇所の道路面や道路肩等の補修を実施しており、今後も迅速な対応を行います。</p>

達成目標
<p>国道25号から国分寺大橋を渡った西側に位置する青谷運動広場は、柏原市地域防災計画において、災害用の臨時ヘリポートや、仮設住宅候補地にもなっていることから、国分寺大橋の耐震補強を行うことで、大規模災害時の救命救助活動や支援物資の輸送等に、重要な役割を果たすことができます。</p> <p>また、玉手橋の修繕は、橋りょう長寿命化や第三者被害防止につながります。</p>
<p>効率的な舗装維持管理の実施により、安全で円滑な交通環境の確保及び市民の安全・安心が確保できます。</p> <p>また、道路附属物の老朽化による事故を未然に防止することにより、安全で円滑な交通環境の確保及び市民の安全・安心が確保できます。</p>
<p>道路等の破損等について、緊急的な補修等を行うことで、車両及び歩行者の通行の安全が確保できます。</p>

達成状況	達成度
<p>国分寺大橋は、一級河川大和川の河川区域内の工事となるため、非出水期（11月1日から5月31日まで）にしか工事が出来ない制約があることから、複数年に跨る工事となります。</p> <p>平成30年度より下部工橋脚1箇所の修繕及び耐震補強工事を実施し、早期の完成を目指します。</p> <p>また、玉手橋は、一級河川石川の河川区域内の工事となるため、非出水期（11月1日から5月31日まで）にしか工事が出来ない制約中、修繕工事を行ったことから、橋りょう長寿命化及び第三者被害防止が図られました。</p>	<p style="font-size: 24pt;">B</p> <p>概ね達成</p>
<p>舗装修繕計画を策定したことから、効率的な舗装維持管理が図れ、安全で円滑な交通環境の確保及び市民の安全・安心が確保できる、道路舗装工事に繋がるものとなりました。</p> <p>また、道路附属物におきまして、修繕計画を策定したことから、効率的な舗装維持管理が図れ、安全で円滑な交通環境の確保及び市民の安全・安心が確保できる、附属物修繕工事に繋がるものとなりました。</p>	<p style="font-size: 24pt;">A</p> <p>達成</p>
<p>緊急的に補修等を行うことで、車両及び歩行者の通行の安全を確保しております。</p>	<p style="font-size: 24pt;">A</p> <p>達成</p>

## 総合評価・総括

道路、橋りょうの維持管理については、「舗装修繕計画」及び「橋りょう長寿命化計画」に基づき、今後も計画的な維持補修に取り組んでいく必要があると考えます。

部(局)	都市デザイン部
------	---------

<b>重点課題 6</b>	<b>交通安全対策の推進</b>
---------------	------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	自転車等放置禁止区域での放置自転車ゼロを目指します。啓発活動の充実をめざし、市民の交通安全意識の向上を図ります。
---------------------	--

<b>活動目標</b>
自転車等放置禁止区域での自転車等の放置防止の啓発活動を行います。
交通安全キャンペーン、ウェブサイト、フェイスブック、市広報等による啓発活動を行います。 市内保育所、幼稚園、小学校等において交通安全教室を実施いたします。

<b>具体的な取組実績</b>
今年度より、新たに「自転車マナーアップキャンペーン」を行い、市内でも特に放置自転車の多い、JR柏原駅にて、多くの市民の方に啓発活動を行うことができました。
市広報に交通安全に関する記事を掲載し、交通安全運動や交通安全キャンペーンの様子をフェイスブックに掲載しました。市内保育所、幼稚園、小学校で春と秋の交通安全教室を実施いたしました。

<b>達成目標</b>
前年度より、放置自転車等への警告及び指導をより徹底し移動保管台数の減少をめざします。
前年度より、市内交通事故発生件数の減少をめざします。

<b>達成状況</b>	<b>達成度</b>
前年度より、放置自転車自体が減少しており、これは以前から取り組んでいる、自転車の放置防止の啓発が、浸透してきているものと思われます。それに伴い、警告札貼付枚数も減少し、移動保管台数も減少しています。	A 達成
平成30年の柏原市内の交通事故件数は、247件であり、平成29年が312件であったので、65件減と大幅に減少いたしました。	A 達成

<b>総合評価・総括</b>
柏原市内の交通事故発生件数は、年々減少しており、特に平成30年は、前年に比べ65件の減と大幅に減少いたしました。また自転車放置禁止区域での放置自転車も近年かなり減少してきていたのですが、平成30年度も減少いたしました。これは以前から取り組んできた市民への啓発活動が浸透し、市民の交通安全意識が向上しているものと思われます。今後も自転車放置防止等の市民への啓発活動を積極的に行い、より一層交通安全教室や交通事故防止の啓発活動等の交通安全運動に取り組み、交通事故発生件数の減少につなげていきたいと思っております。

部(局)	都市デザイン部
------	---------

重点課題 7	市民協働による、みどり豊かなまちづくりの推進と安全安心な公園、広場とするための維持管理
--------	---

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	公園、広場、緑地については、安全で快適な地域のインフラとして、地域の住民の皆様にも愛着をもっていただき、また市民の皆様にとって楽しい、憩いの場となるように目指します。
---------------------	---

活動目標
市民の方々との協働による草花の植栽などを呼びかけ、みどり豊かなまちづくりを進めます。
市内の公園の維持管理として、遊具施設の点検及び補修並びに樹木の剪定を行っていきます。

具体的な取組実績
地域への花苗配布を実施しました。(春：2,960株・24団体、秋：2,800株・26団体)協働緑地でも市民との協働で草花の植栽等を6回実施しました。
遊具点検(102公園、320基)、砂場殺菌清掃(34箇所)、公園ちび広樹木剪定(80箇所)、街路樹剪定(13箇所)、大和川河川敷芝生管理等を実施しました。

達成目標
緑地などの緑化の推進や公園などでの草抜きやゴミ拾い等の簡易な作業について、地域の方々との協働を呼びかけることにより、より地域住民に愛着を持っていただける公園、広場、緑地となります。
公園施設の点検及び補修、樹木の剪定を行うことで、安全・安心な公園として、市民の方々に安全に、楽しく利用していただく、憩いの場となります。

達成状況	達成度
地域で日常の維持管理がされている公園の割合はまだ低い状況であり、高齢化により、現状の体制を維持していくのが難しいとの声も聞かれます。今後は、子育て世代や子どもたちなどの若年層も、公園清掃等の維持管理に協力してもらえるよう、働きかけていきます。	B 概ね達成
遊具については、定期的な日常点検のほか、専門業者による年1回の点検を行い、優先度の高い順から修繕を行っています。今後は、照明灯、あすまや、パーゴラ、ベンチ等、遊具以外の施設についても日常点検で損傷度合を把握し、重大事故が発生する前に修繕を行っていきます。	B 概ね達成

総合評価・総括
台風や地震などの突発的な災害により、ブロック塀対策工事や倒木の処理など、緊急的な対応を迫られる事態が発生したが、限られた人員と予算の中、市内公園の管理水準を極端に落とすことなく維持管理を行うことができました。

# 平成30年度各部の重点課題の取組結果

部(局)	上下水道部
部(局)長	辰巳 伸一

## 【基本姿勢】

上下水道は、生活に欠かすことの出来ない水道水の供給、生活排水の処理、さらに降雨による浸水被害の防除など、市民生活を支えるとても重要なライフラインです。

この上下水道事業を取り巻く事業環境が、人口減少等に伴う水需要の減少や施設の老朽化に伴う更新需要の増大、また、近年増加している局地的大雨や台風に伴う浸水対策への対応などにより、年々厳しくなっています。

このため、上下水道部では、将来にわたり安定したサービスの提供を続けるため、これまで効率的な事業運営に努めています。

今年度についても、「便利で快適に暮らせるまち」の政策目標のもと、市民の方々が安心して快適に生活ができるまちを目指し、以下の取り組みを進めます。

水道事業では、「柏原市水道ビジョン」に基づき、老朽化した水道管路や施設の更新、整備を進め、災害に強い水道システムの再構築を計画的に進めます。また、当該水道ビジョンが平成30年度までの計画であるため、平成31年度から10年間の新しい事業計画を策定します。今後もこの計画に基づき、安全で良質な水道水を市民の方々に、安定的、効率的に供給することに努めます。

下水道事業では、「公共下水道整備第7次五箇年計画」に基づき、計画的に公共下水道の整備を進めるとともに、公共下水道の計画区域外における浄化槽の整備についても、引き続き進め、生活環境の改善と河川などの公共用水域の水質向上を図ります。

また、汚水被害から市民の方々の生命、財産を守るため、老朽化が進んでいる雨水ポンプ場施設の更新に向けた準備を進めるとともに、災害時の避難行動に役立てていただくため、内水ハザードマップを作成します。

## 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

## 【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	水道管路、施設の効率的な整備、更新の推進	A
2	健全で持続可能な水道事業運営基盤の確立	A
3	計画的な汚水整備と生活排水対策の推進	B
4	浸水被害の軽減に向けた、雨水対策及び下水道施設の老朽化対策	B

部(局)	上下水道部
------	-------

**重点課題 1 水道管路、施設の効率的な整備、更新の推進**

全体の達成度  
**A**  
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	安全で良質な水を安定的、効率的に供給するため老朽化した管路、施設の更新、整備を進めます。
---------------------	--

活動目標	具体的な取組実績
老朽化した管路約3.5kmを耐震性のある管で更新し、地震に強い水道管路を構築します。	耐震適正基準に適合している管で、3.5kmの更新を行える見込みです。
雁多尾畑配水池流量計及び東春日台ポンプ場流量計を更新します。	雁多尾畑配水池流量計及び東春日台ポンプ場流量計の更新を行いました。

達成目標	達成状況	達成度
平成30年度末で、管路延長約257kmの内、約104.7kmの耐震化を行い、耐震適合化率40.7%を目指します。	全長約257kmの内、約105.0kmが耐震適合化され耐震適合化率は、40.8%となる見込みです。	<b>A</b> 達成
安定した運転管理を行います。	安定した、運転管理を行えるようになりました。	<b>A</b> 達成

**総合評価・総括**

管路更新において、重要幹線である玉手幹線や平成29年度に漏水し広範囲に影響の出た送水管を含む3.5kmを更新し、効率的、効果的な事業が行え安全性が向上しました。なお今年度の管路更新率は、約1.36%になると見込んでいます。

流量計については、測定精度及び計器の信頼性が向上し安定した運転管理が行え効率的な水運用が行えるようになりました。

部(局)	上下水道部
------	-------

<b>重点課題 2</b>	<b>健全で持続可能な水道事業運営基盤の確立</b>
---------------	----------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	健全で持続可能な水道事業を実現するため、計画的、効率的な事業運営を行う。
---------------------	--------------------------------------

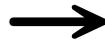
活動目標
アセットマネジメント手法を導入した、水道ビジョンの改定を行います。



具体的な取組実績
水道ビジョンの改定を行いました。



達成目標
平成31年度からの水道事業の健全経営を具現化できる、中長期的な計画を示します。



達成状況	達成度
健全経営が行える平成31年度から10年間の具体的な取り組みを示した水道ビジョンとすることができました。	A
	達成

<b>総合評価・総括</b>
<p>策定については、中長期の水需要予測、施設・設備・管路の状態調査、危機管理対策、そしてパブリックコメントの実施など、水道事業全般にわたる検討と市民意見を反映した、将来にわたり運営基盤の確立を行うにあたり目指すべき方向を示した水道ビジョンとすることができました。</p>

部(局)	上下水道部
------	-------

重点課題 3	計画的な污水整備と生活排水対策の推進
--------	--------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	「公共下水道整備第7次五箇年計画」に基づく、污水管渠整備を進めるとともに、引き続き、浄化槽設置による生活排水処理を進めてまいります。
---------------------	--

活動目標
約6ヘクタールの污水整備を行います。
10基の浄化槽設置を行います。

具体的な取組実績
約6ヘクタールの污水整備が完了する見込みです。
新たに5基の浄化槽を設置しました。

達成目標
平成30年度末には、人口普及率約87.1%を目指します。
平成30年度末には、設置基数86基を目指します。

達成状況	達成度
平成30年度末までの人口普及率は、約87.1%の污水整備を達成する見込みです。	A 達成
これまでに設置した浄化槽の基数は、81基となりました。	C 一部達成

総合評価・総括
<p>公共下水道整備第7次五箇年計画に基づく計画的な污水整備を進めた結果、人口普及率87.1%を達成する見込みです。今後も第7次五箇年計画の最終目標であります、平成32年度末人口普及率87.6%達成に向け計画的に污水整備を進めます。</p> <p>また、浄化槽事業については、公共用水域の水質向上や生活環境の向上に向け、今後も引き続き事業を進めます。</p>

部(局)	上下水道部
------	-------

<b>重点課題 4</b>	<b>浸水被害の軽減に向けた、雨水対策及び下水道施設の老朽化対策</b>
---------------	--------------------------------------

全体の達成度
<b>B</b>
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	浸水被害を軽減するため、雨水対策を進めるとともに、老朽化した下水道施設の更新事業を進めます。
---------------------	--

活動目標
浸水の危険レベルを示す内水ハザードマップを作成し、自助行動啓発に役立てます。
雨水ポンプ場の耐震診断及び管路の点検調査を行います。

具体的な取組実績
平成30年度、浸水想定区域図を基に内水ハザードマップを作成しました。
雨水ポンプ場の耐震診断と柏原地区の管路の点検調査を行いました。

達成目標
内水ハザードマップを完成させます。
施設及び管路の状況調査を完了させ、ストックマネジメント計画策定業務を進めます。

達成状況	達成度
内水ハザードマップが完成しました。	A 達成
雨水ポンプ場の耐震診断は完了しました。 また、柏原地区の管路の点検調査が完了する見込みですが、国分地区については入札不調により次年度へ繰越します。	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>今年度は、浸水被害軽減のソフト対策となる内水ハザードマップが完成しました。このため、来年度には、大雨の時期が来るまでにマップの配布を行い、自助共助の啓発を行う予定です。</p> <p>また、国分地区の管路の点検調査については、入札不調に伴い平成30年3月末の契約となり、来年度の7月末まで業務を進めていくこととなりましたが、今年度の業務は概ね達成しており、今後のストックマネジメント計画策定への影響はなく進めることができます。</p>

## 平成30年度各部の重点課題の取組結果

部(局)	病院事務局
部(局)長	中川 拓也

### 【基本姿勢】

市立柏原病院では、自治体病院が担うべき地域医療の中心的な役割を果たすとともに、良質な医療の提供を安定的に行えるよう努めてまいります。また、心あるより良い医療の提供により、医療収益の向上を目指し取り組んでまいります。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	医療提供体制の充実と患者サービスの向上	A
2	良質な医療の提供による安定した経営基盤の確立	C

部(局)	病院事務局
------	-------

重点課題 1	医療提供体制の充実と患者サービスの向上
--------	---------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	市民が必要とする安全安心な医療提供体制の構築
---------------------	------------------------

活動目標
救急診療、がん治療などの急性期医療や周産期・小児医療などの充実に努めます。
地域の医療機関及び関連大学病院との連携強化を図ります。

具体的な取組実績
休日等の救急医療体制の充実を図るため、救急内科医を1名増員しました。 平成31年1月より小児科急病診療を拡充しました。 (内容:木曜日17時～19時 → 月曜日の20時～翌8時)
平成30年6月に大阪市立大学医学部附属病院との医療機能連携協定を締結しました。 市内診療所等を訪問し、病診連携の強化に努めました。 (訪問実績:病院、診療所86件、介護施設40件)

達成目標
市民意識調査の「医療体制」の満足度を前回数値より高めます。
診療所等からの紹介率50%以上を目標とします。

達成状況	達成度
市民意識調査における満足度が0.06点上昇しました。 (平成29年度3.11点 → 平成30年度3.17点)	A 達成
紹介率が52.1%(平成29年度)から60%(平成31年1月末現在)に上昇しました。	A 達成

総合評価・総括
小児科を含む救急診療体制の充実を図る目標は概ね達成することができました。引き続き、救急診療の充実及び地域の医療機関との連携強化に努め、基幹病院としての役割を果たすための取組を進めてまいります。

部(局)	病院事務局
------	-------

重点課題 2	良質な医療の提供による安定した経営基盤の確立
--------	------------------------

全体の達成度
C
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	経常収支の均衡、資金不足額の改善
---------------------	------------------

活動目標
医業収益の増加
経費の削減

具体的な取組実績
平成30年4月から入院医療費の算定方法としてDPC方式を採用し、効率的な医療の提供に取り組みました。
委託契約方法の見直しや看護師等の派遣人員の削減等により、約1,000万円の経費削減が図ることができる見込みです。

達成目標
病床稼働率88%以上を目標とします。
医業収益に占める材料費及び経費の割合を前年度数値より抑制します。

達成状況	達成度
平成31年2月末日時点での平成30年度の病床稼働率は、75.4%と前年度を下回る見込みとなっています	D 未達成
【2月末日時点での比較】 材料費で1.3ポイントの抑制(20.5%→19.2%) 経費で0.6ポイントの抑制(17.2%→16.6%) 人件費で1.0ポイントの増加(59.0%→60.0%)	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>病床稼働率が前年度を下回ったものの、医業収益は約7,000万円の増加が見込まれます。一方、医業費用については、材料費及び経費での抑制は図れたものの人件費等の増加により医業費用全体としては約3,700万円の増加が見込まれる状況となっています。</p> <p>目標としています経常収支の均衡を図るためには、更なる収入の増加、支出の抑制に努めなければならない状況にあります。</p>

## 平成30年度各部の重点課題の取組結果

部(局)	教育部
部(局)長	福島 潔
教育監	岡本 泰典(学校教育担当)

### 【基本方針】

義務教育を取り巻く環境は急速に変化しています。平成27年4月には「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、地方教育行政の責任の明確化や迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化などが求められました。これを受け、平成27年度から総合教育会議が定期的開催され、平成26年3月策定の「柏原市教育振興基本計画」の後期計画である改訂版(平成29年度から平成31年度まで)を策定し、平成29年5月開催の第1回総合教育会議において、市長が定める教育に関する「大綱」に位置付けられました。また、教科指導においては、道徳が特別な教科として小学校(平成30年度から)、中学校(平成31年度から)で開始されるとともに、小学校中学年(3,4年生)では「外国語活動」、高学年(5,6年生)では「外国語科」が平成32年度から導入されます。

このように教育改革の時代ですが、本市の教育理念「『かしわらっ子』はぐくみ憲章」(平成20年策定)にある「15の春にひとすじの意志をもったひたむきな姿勢をつらぬく若者の育成」を期して、「柏原市教育振興基本計画」に定めた4つの基本方針に基づく教育行政を市民と協力しながら推進していきます。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	幼小中一貫教育を推進します。	B
2	知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます。	B
3	安全・安心で、質の高い教育環境をつくります。	A
4	子どもから高齢者まで、誰もが学びたいときに学び、身近な地域で気軽にスポーツに親しむことが出来るよう、支援を行います。	B

部(局)	教育部
------	-----

**重点課題 1 幼小中一貫教育を推進します。**

全体の達成度  
**B**  
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	①各中学校区で、幼小中11年間を見通した教育活動の充実をめざします。 ②本市一貫教育の発展した形となる施設一体型一貫校や、義務教育学校、コミュニティスクールの設置の検討を進めます。 ③柏原市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針に基づき、国分中学校区について具体的な方策を進めます。
---------------------	---

活動目標
各中学校区で教職員間連携、子どもの交流・連携、家庭・地域・学校の連携・協働を充実させます。
施設一体型一貫校、コミュニティスクール、義務教育学校について研究・調査し、設置に向けて検討を進めます。

具体的な取組実績
本年度も幼小中一貫教育推進教員を11名配置し、小中の乗り入れ授業を行うことで、系統性・連続性のある指導ができました。8月には児童生徒会サミットを開き、「互いに気持ちよい話し方」について小中の子どもたちが校種を越えて議論を深めることができました。11月の教育月間全体会では、SNSの危険性についての講演を実施し、昨年度より多くの保護者にも参加していただくことができました。
国の動向や先進校の取組み、そして本市の現状などを鑑みながら検討を進めました。

達成目標
各学校園長の成果報告や、各学校園の子ども、保護者、教員対象の学校評価、市民意識調査の「教育指導」の満足度を前回数値より高めます。
年次計画を定めるとともに、保護者、地域へ周知を図り、一定の理解を得ます。

達成状況	達成度
市民意識調査の「教育指導」の満足度を前回数値より高めることができました。	<b>B</b> 概ね達成
各中学校区において、家庭や地域に向けて幼小中一貫教育の取組みや年間計画などを発信し、学校・家庭・地域の連携がとれました。	<b>B</b> 概ね達成

**総合評価・総括**

幼小中一貫教育は、平成30年度で12年目となり、この間学校、家庭、地域が一体となった取組が着実に積み上げられてきました。今後はこれまでに培われた各校区における取組を検証・整理し、好事例の共有や活用をより進めていく必要があると考えています。しかしながら、子どもたちを取り巻く環境の変化により学校が抱える課題も複雑化・困難化する中で、学校だけの工夫だけでは教育の充実はとても困難になっています。よって、各学校において新しい学習指導要領で求められている「社会に開かれた教育課程」を編成し、より家庭や地域との連携を大切にしていけます。

部(局)	教育部
------	-----

重点課題 2	知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます。
--------	-----------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	<p>家庭、地域、学校が連携・協働して、以下に取り組みます。</p> <p>①「確かな学力」：個に応じた指導を通して、「全国学力・学習状況調査」や「大阪府中学校チャレンジテスト」、市独自の「かしわらっ子はぐくみテスト」等で、前年以上の結果をめざします。</p> <p>②「豊かな心」：人権教育や道徳教育、キャリア教育の充実を通して、いじめや不登校、問題行動の減少をめざすとともに、夢や志をはぐくむ教育活動の充実をめざします。</p> <p>③「健やかな体」：保健体育や食育の充実により、将来にわたり体や健康に留意し、自己管理できる力の育成をめざします。</p>
---------------------	--

活動目標
市独自で、児童の学力と個性や心の有り様も調査する「かしわらっ子はぐくみテスト」を継続実施し、効果的な活用により、学力向上と個性の伸長等につなげられるよう学校を指導します。
本年度より小学校から始まった「特別の教科 道徳」を円滑に進めるとともに、次年度からの中学校実施に向けて丁寧な準備をします。
各校で学校保健委員会が実施できるよう連絡・調整します。安心・安全な学校給食の実施を通して食育の充実を図ります。

具体的な取組実績
本年度も12月に、小学校の1年生から6年生までを対象に「かしわらっ子はぐくみテスト」を実施しました。3年目をむかえ、市全体で向上をめざしていた「書くこと」については、記述式の問題で全国を上回り、条件作文の無回答率が23%から11%に減少しました。
道徳教育推進教師連絡協議会を年3回実施しました。小学校は本年度から教科化になったということで、評価についての交流が活発になりました。中学校については、次年度の教科化に向けての情報交換することで準備が進みました。また本年度市内で行われた大阪府中学校同和教育研究会、大阪府小学校道徳教育研究会の実践報告を会議の中で行うことで、優れた実践を市域に広めることができました。
柏原市医師会・歯科医師会・薬剤師会と連携し、各校で学校保健委員会が実施できました。学校給食を通して、バランスのとれた献立を考えたり、朝食の大切さを学んだり、地産地消の学習をしたり、全校で食育の充実を図ることができました。

達成目標
各学校園の子ども、保護者、教員対象の学校評価の結果を前回数値より高めます。
市民意識調査の「教育指導」の満足度を前回数値より高めます。

達成状況	達成度
本年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率において、小学校が大阪府を超え、ほぼ全国並みになりました。中学校ではまだ全校を下回っていますが、同一児童生徒を経年比較しますと、小学校時より伸びていることがわかりました。	B 概ね達成
市民意識調査の「教育指導」の満足度を前回数値より高めることができました。	B 概ね達成

総合評価・総括
「全国学力・学習状況調査」の平均正答率では、特に小学校において向上が見え、「中学校チャレンジテスト」や「かしわらっ子はぐくみテスト」においても、市で統一テーマとして取り組んできた「書く力」については一定の成果が現れてきました。しかしながら、文章から必要な情報を読み取る力や、家庭学習の時間には依然として課題が残っています。次年度からは、平成28年度から平成30年度までの3ヶ年の学力向上に向けて策定した「かしわらっ子はぐくみプラン」を再編し、新たに3つのテーマと7つの取組によって子どもたちの学力の向上に努めます。併せて小中ともに道徳が教科化されることを契機に、児童・生徒が主体的に道徳的価値について「考え・議論する道徳」の充実に向けた取組を進めていきます。

部(局)	教育部
------	-----

重点課題 3	安全・安心で、質の高い教育環境をつくりま す。
--------	----------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	①安全・安心な学校施設の環境整備に向けては、小中学校の普通教室への空調設備の設置、トイレの洋式化を含むトイレの改修などを進めます。 ②小・中学校の適正規模・適正配置基本方針に基づき、保護者や地域住民の理解と協力を得ながら小・中学校の再編を進めます。 ③支援を必要とする児童・生徒の教育機会均等とその確保に向け、経済的・人的・設備的な基礎的環境整備を進めます。
---------------------	---

活動目標
中学校の普通教室への空調設備の設置を完了するとともに、小学校の普通教室への空調設備設置に向けた設計を開始します。
小・中学校の適正規模・適正配置につきましては、国分中学校区の小規模化しています国分東小学校と国分小学校の統合目標年月日を定め、それに向けて保護者や校区住民への現状説明や意見交換等を進めます。
支援を必要とする児童・生徒に必要な合理的配慮を提供するために、「個別の教育支援計画」を充実させ、支援教育就学奨励費の支給や教員・介助員の配置等、教育環境を整備します。

具体的な取組実績
中学校の普通教室への空調設備の設置は完了し、小学校の普通教室への空調設備の設置に向けた設計業務も前倒しで完了しました。
国分東小学校と国分小学校の統合目標年月日を2020年4月1日と定め、保護者や校区住民に述べ9回の説明会を行い、ご意見をいただきながら、理解を求めて参りました。いただいたご意見をもとに、統合委員会で児童・保護者の安全・安心につながる施策や取組みを話し合い、準備を進めてまいりました。
支援教育就学奨励費が適正に支給されるよう支援を必要とする児童・生徒の状況を正確に把握するとともに周知に努めました。合理的配慮の提供のため「個別の教育支援計画」を活用しながら、教員・介助員を適正に配置することができました。

達成目標
市民意識調査の「教育環境」の満足度を前回数値より高めます。
H30年度に全中学校、H31～32年度の2年間で全小学校の空調設備を整備します。

達成状況	達成度
市民意識調査の「教育指導」の満足度を前回数値より高めることができました。	A 達成
平成30年度に全中学校への空調設備の設置が完了しました。平成31年度中に小学校への空調設備の設置ができるよう設計業務が完了しました。	A 達成

総合評価・総括
中学校への空調設備の設置が完了し、小学校への空調設備設置に向けた設計業務が完了したことにより、柏原市立の全小学校・中学校への空調設備が整備されることとなり、また、国分小学校・国分東小学校の統合については、目標年月日を周知できたことで、具体的な話が進み、計画をたてることができました。支援教育については、人材確保に苦勞しながらも介助員配置や支援教育就学奨励費の支給を含め、安全・安心で質の高い教育環境を提供できています。

部(局)	教育部
------	-----

重点課題 4	子どもから高齢者まで、誰もが学びたいときに学び、身近な地域で気軽にスポーツに親しむことが出来るよう、支援を行います。
--------	--

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	①子どもの成長を図るためには、学校生活以外に家庭・地域社会との関わりや学外での学習が大きな影響を与えます。そのために、青少年の健全育成に関して更に取り組みます。 ②スポーツによる健康増進を図るため、身近な地域で気軽にスポーツに親しめる機会と施設の充実に努めます。 ③子どもから高齢者まで、多様な学習環境を整えるため、生涯学習の充実に取り組みます。
---------------------	---

活動目標
青少年の健全育成活動として、通学時の見守り活動や放課後子ども教室（のびのびルーム）の開催、また、学校以外で楽しく学ぶことのできる青少年講座を開催し、学べる機会を増やします。
生涯スポーツの場として「スポーツフェスティバルin柏原」や「柏原シティキャンパスマラソン」等を開催するとともに、サンヒルスポーツセンターなどのスポーツ施設の運営を行い、平成31年4月に恩智川遊水地内に新たな市民スポーツ広場を開設するための準備を進めます。
公民館や図書館、歴史資料館、自然体験施設等を活用し、市民の生涯学習の充実に努めます。

具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・724名の登録ボランティアによる通学時の見守り活動を実施。</li> <li>・放課後子ども教室（のびのびルーム）は計187回開催。</li> <li>・青少年講座【釣り入門講座6回、科学講座1回、歴史講座1回、昆虫観察講座3回、星空観察講座2回及びハンドクラフト(革細工)講座1回】の計14回開催した。対象者は小学1年生～中学3年生で計179人が参加。</li> </ul>
①「スポーツフェスティバルin柏原」には、過去最高の8,199人が来場され、参加者が各種スポーツに親しまれました。②柏原シティキャンパスマラソンには844人のランナーがエントリーされ、大阪教育大学内のアップダウンの激しいコースに挑戦されました。③体育館・サンヒルスポーツセンター等の施設は大過なく運営されました。④堅下北スポーツ広場は平成31年3月末に完成予定であり、4月1日より開場いたします。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・竜田古道の里山公園（スマイルランド）入場者数及びキャンプ施設等の利用者数（H31.2月末現在）はそれぞれ延べ13,293人と28,156人となっています。</li> <li>・歴史資料館では、年4回の企画展、各種講演会や講座等を実施し、多数の来館者（平成30年度は18,625人）を得ました。</li> <li>・公民館（本館、堅下分館、国分分館）の利用者数は、62,653人（H31.1月末現在）、市民文化祭（10月6～21日開催）12,408人の参加をいただきました。</li> </ul>

達成目標
市民意識調査の「青少年の健全育成」「スポーツ振興」「生涯学習」の満足度を高めます。
子どもたちの学べる機会を増やすため、地元大学の協力を得て青少年講座を増やします。
（仮称）恩智川多目的遊水地市民スポーツ広場を整備します。

達成状況	達成度
市民意識調査のうち「スポーツ振興」は満足度を高めることができ達成したが、「生涯学習」及び「青少年の健全育成」については未達成であったことから、今後満足度を高める取組みを進めます。	<b>C</b> 一部達成
青少年講座の開催回数につきましては、前年度と同数となりました。講座の内容については、大学の協力を得て新たな講座を開催しました。	<b>C</b> 一部達成
堅下北スポーツ広場は、平成31年4月1日をもって開場いたします。	<b>A</b> 達成

総合評価・総括
青少年の健全育成を図るには、学校教育のみならず学外での学びが大切と考えます。今回の市民意識調査では未達成であったことから、今後は市民のニーズに合う内容の講座等を開催するとともに、児童や生徒たちと地域が密接につながるよう、社会教育関係団体と意識向上を図ることを共有しながら、満足度の向上に努めたいと考えます。 また、スポーツ振興が市民意識調査で満足度を高めており、来年度から堅下北スポーツ広場が開場することにより更に満足度が向上するよう取り組みたいと考えます。一方、生涯教育については、今後満足度が向上する方策を模索し、具体化することが重要と考えます。